

【参考資料】

丹波市小学校区別人口推計

(平成27年10月28日時点版)

丹波市

目次

1	はじめに	1
2	小学校区別人口の将来推計にあたって	1
	（1）人口推計の方法について	1
	（2）小学校区別推計では「コーホート変化率法」を用いて推計	1
3	小学校区別の人口推計の傾向	2
	（1）柏原地域崇広地区	4
	（2）柏原地域新井地区	5
	（3）氷上地域中央地区	6
	（4）氷上地域生郷地区	7
	（5）氷上地域葛野地区	8
	（6）氷上地域沼貫地区	9
	（7）氷上地域幸世地区	10
	（8）青垣地域佐治地区	11
	（9）青垣地域芦田地区	12
	（10）青垣地域神楽地区	13
	（11）青垣地域遠阪地区	14
	（12）春日地域黒井地区	15
	（13）春日地域春日部地区	16
	（14）春日地域大路地区	17
	（15）春日地域進修地区	18
	（16）春日地域船城地区	19
	（17）山南地域上久下地区	20
	（18）山南地域久下地区	21
	（19）山南地域小川地区	22
	（20）山南地域和田地区	23
	（21）市島地域竹田地区	24
	（22）市島地域前山地区	25
	（23）市島地域吉見地区	26
	（24）市島地域鴨庄地区	27
	（25）市島地域美和地区	28

1 はじめに

丹波市全体では、2010年の国勢調査人口 67,757 人が、国立社会保障・人口問題研究所推計準拠（以下、「社人研準拠」）によると、50年後の2060年には35,245人と約半減するものと推計されている。このことは丹波市全体の産業の担い手不足、経済の縮小、年少人口と生産年齢人口の減少により、まち全体の活力が減退することになる。同じように各小学校区においても地域活力の低下を招き、いずれ直面する、避けて通れない課題となる。広い可住面積をもつ本市においては、25の小学校区があり、これまでの歴史的な成り立ち、地理的条件や生活利便施設の立地状況、分譲住宅や商業開発などの社会的要因などにより、それぞれの人口増減率は校区によって異なったものとなる。

そこで、本資料では、平成 27 年 3 月末の住民基本台帳登録人口に、過去 11 年間の各校区の年齢区分ごとの移動率をもとに、今後、2060 年までその移動率が継続するものと仮定して各小学校区の人口推計を試みた。

本編「丹波市人口ビジョン」では、市全体の将来人口の推計を示しているが、ここでは身近な小学校区において将来人口がどのようになるのかイメージし、市民の認識を共有するため概ねの人口の傾向を示すものである。

2 小学校区別人口の将来推計にあたって

(1) 人口推計の方法について

人口推計の方法には2種類あり、「コーホート要因法」と「コーホート変化率法」がある。コーホートとは、同年（または同期間）に出生した集団のことをいい、社人研準拠の推計は、コーホート要因法を用いており、各コーホートについて、「自然増減」（出生と死亡）及び「純移動」（転入と転出）という二つの「人口変動要因」それぞれについて将来値を仮定し、それに基づいて将来人口を推計する方法である。

コーホート変化率法は、あるコーホートの一定期間における人口の増減を変化率とし、その変化率が対象地域の人口変化の特徴であり、将来にわたって維持されるものと仮定して、将来人口を算出する方法である。なお、出生は別途、基準年の女性人口と出生率を用い算出される。

(2) 小学校区別推計では「コーホート変化率法」を用いて推計

校区ごとの出生率や転入・転出の状況は、各小学校区によってそれぞれ異なる特徴があるため、コーホート要因法の一律に同じ変数を用いる推計方法は実態とそぐわないものとなる。

一方、コーホート変化率法は、変化率や出生数の推計に使用する子供・女性比率は、比較的統計上の誤差が小さいことに加え、住民基本台帳のデータを用いることで、毎年 1 歳階級ごとの変化率を算出することができ、小規模な地域の推計に適している。

そのため、小学校区別推計には住民基本台帳データを使用した「コーホート変化率法」を採用し、今回は、2005 年から 2015 年までの 11 年間分の人口データから、11 年間（10 スパン）の変化率を算出し、推計を行っている。（詳しい推計方法は、3 ページに示すとおりである。）

しかし、コーホート変化率法においては、一定期間における人口の増減を変化率としていることから、この期間において急激な人口流入などの特殊要因があった場合はその傾向も反映される。(例：生郷地区)さらに、人口規模の小さい校区においては、わずかな移動数の上昇であっても変化率が高くなるため、将来人口に及ぼす影響は大きくなる傾向があるので注意が必要である。(例：遠阪・大路・上久下地区の年少人口)

また、本推計方法では、住民基本台帳の登録人口をもとに推計している。そのため、実際に住んでいる「常住人口」とは違うことになるが、本資料では概ねの将来傾向を見るものとして誤差は想定のおうえで行っている。

住民基本台帳人口と国勢調査人口は違うの？

住民基本台帳人口は、住民基本台帳に登録された人口をいい、住民登録を残したまま大学に通っている方や、単身赴任をしている方など、実際に市内に住んでない方もカウントされる。一方、国勢調査人口は、5年ごとに調査され、住民登録とは関係なく、市内にふだん住んでいる人、いわゆる「常住人口」で住民登録せずに居住している人を含んでいる。そのため住民登録と国勢調査の人口は一致しないことになる。2010年10月の国勢調査では、67,757人となっているが、住民登録人口は、70,285人(2010年9月末)で約2,500人住民登録人口の方が多い。

3 小学校区別の人口推計の傾向

上記の前提条件のもとに、2015年3月末の住民基本台帳登録人口(67,248人)と2060年の推計値(小学校区ごとの合算：40,273人)とを比較してみると、市全体で4割減少することになる。

しかし、ここで示す各小学校区別の人口推計は、あくまでここ10年間スパンの移動率がそのまま2060年まで続くものと仮定した傾向である。今後のU・Iターンの状況や自然増減、社会増減、市内移動の状況によっては、総人口や人口構成はこれとは違った曲線を描くことになる。

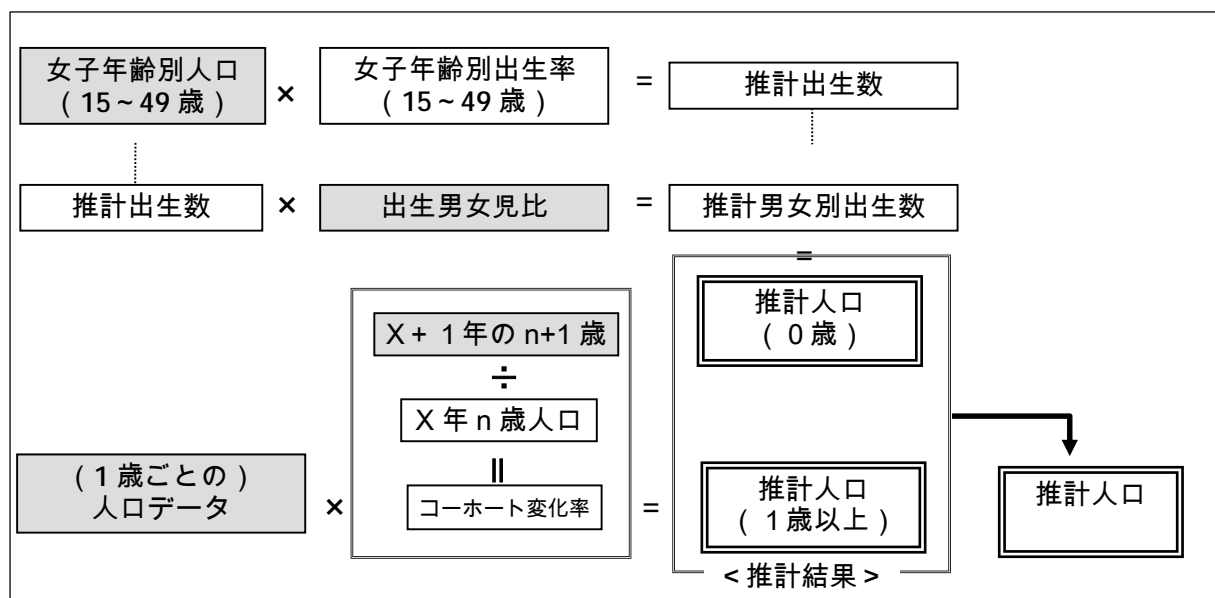
先の転入・転出者のアンケート調査では、青垣地域に転入した住民の22.9%が「田舎暮らしやIターンのため」を選んでいる。あるいは、転出者のアンケートでは、「機会があればもう一度住みたい」との回答が約3割あり、そういった層を広げていく取組みが必要である。また、市全体において人口が減少する中、地域住民が生きがいをもって、自分の持てる力を発揮し、地域が元気になる取組みを進めていくことも重要である。

コーホート変化率法による推計の流れ

住民基本台帳人口を用い、1年ごとの推計人口を算出する。

・各年3月末現在の住民基本台帳人口に基づき、1歳ごとの1年後の人口変化率を算出し、10年間の変化割合の平均を利用して以降の人口動向を推計する。死亡や移動による増減については、計算結果として合算してコーホート変化率が算出される。

各地区の2015年3月末の人口を基準に、2016年から2060年までの人口を推計する。



< 推計手順 >

Step 1 コーホート変化率の算出

地区ごとに、2005年のA歳の人口と翌年の人口(2006年のA+1歳の人口)を把握し、その変化率を算出する。同様に、2006年から2015年のA歳の変化率を算出し、その平均を「A歳のコーホート変化率」と設定する。

なお、90歳以上は変化率を一般化させるため、市全体の値を採用する。

Step 2 出生率の設定

出生率は、兵庫県において公表されている、2010年から2014年における女性5歳階級別出生数(丹波市)と女性5歳階級別人口から5歳ごとの出生率を算出する。

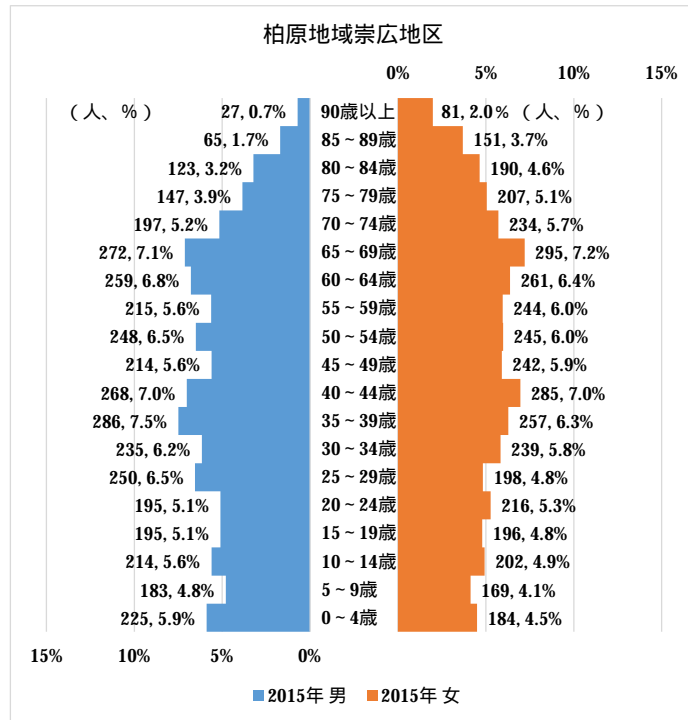
Step 3 将来人口の算出

1歳以上の人口については、前年の人口に各歳のコーホート変化率を乗じて算出する。

0歳人口については、女性年齢別人口の推計値に年齢別の上記出生率を乗じることで出生数を求め、合算する。なお、その際の出生男女比は、2010年から2014年の0歳児の男女比と固定して設定する。

次頁以降の各地区の将来推計人口において、変化率を乗じて推計していることにより端数が生じるため、年少人口、生産年齢人口、老年人口の和は必ずしも総人口と一致しない。

(1) 柏原地域崇広地区
人口ピラミッド(2015年)

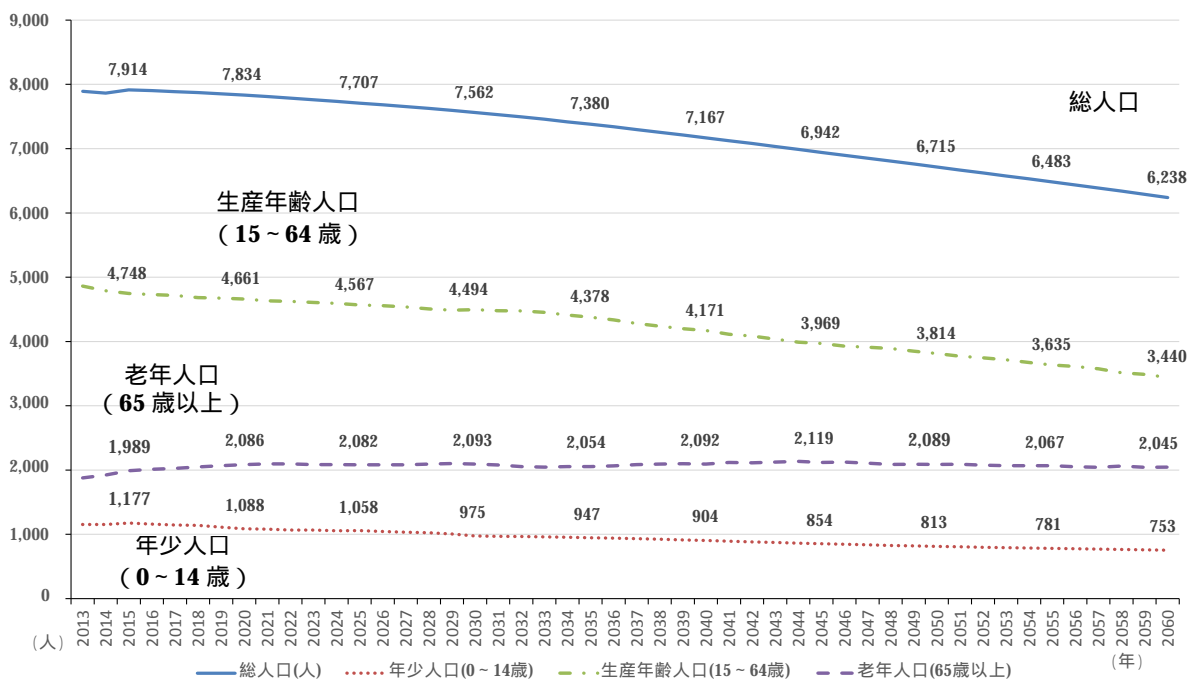


【出典】丹波市(住民基本台帳人口2015年3月末)

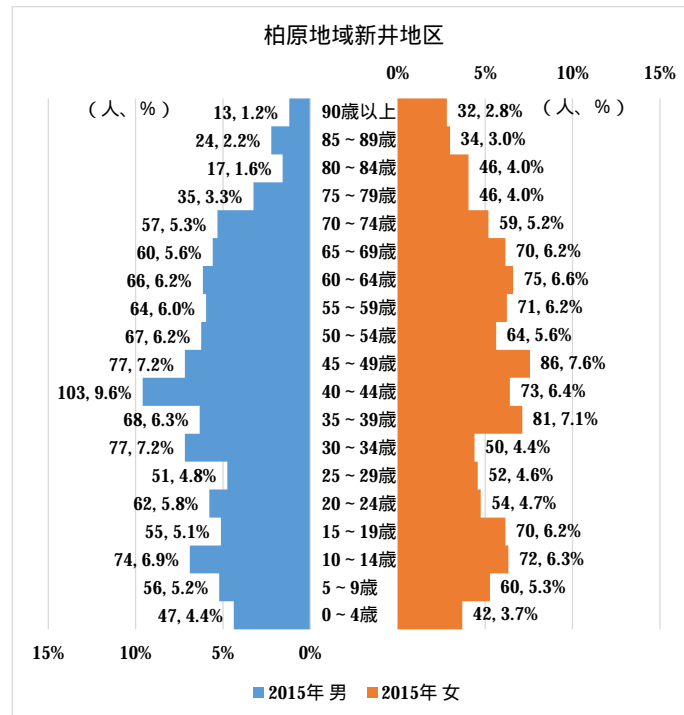
将来人口推計

- ・総人口は、2015年の7,914人から、2040年には7,167人(9.4%減)、2060年には6,238人(21.2%減)となる。高齢化率は2040年には29.2%、2060年には32.8%になると推計される。

年齢3区分別将来人口推計



(2) 柏原地域新井地区
人口ピラミッド(2015年)

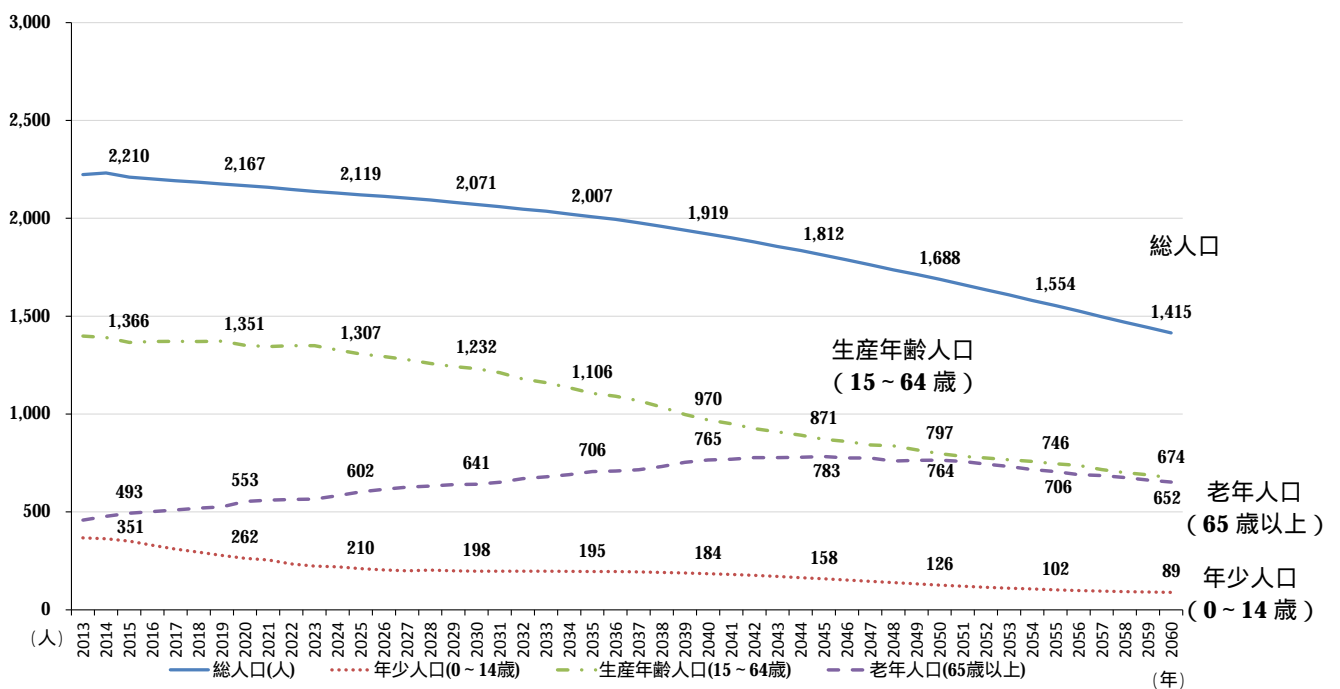


【出典】丹波市(住民基本台帳人口2015年3月末)

将来人口推計

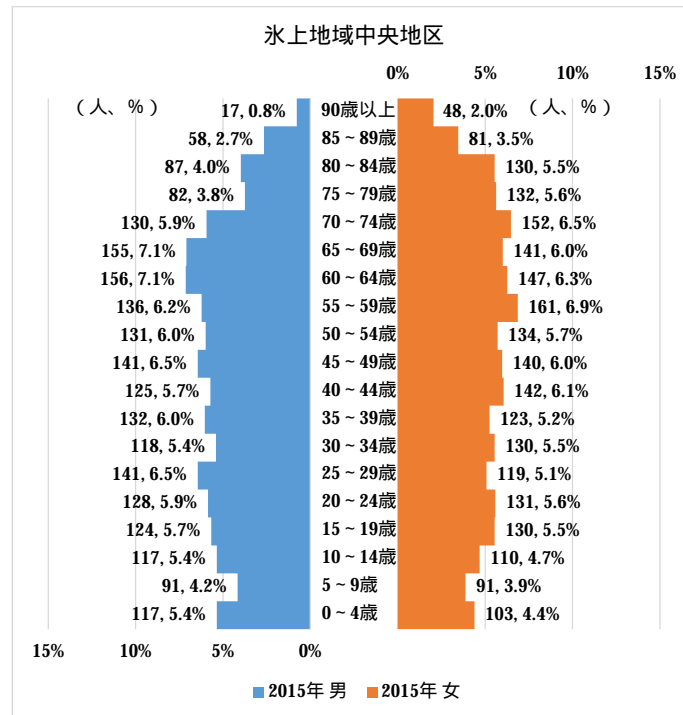
- ・総人口は、2015年の2,210人から、2040年には1,919人(13.2%減)、2060年には1,415人(36.0%減)となる。高齢化率は2040年には39.9%、2060年には46.1%になると推計される。

年齢3区分別将来人口推計



(3) 氷上地域中央地区

人口ピラミッド(2015年)

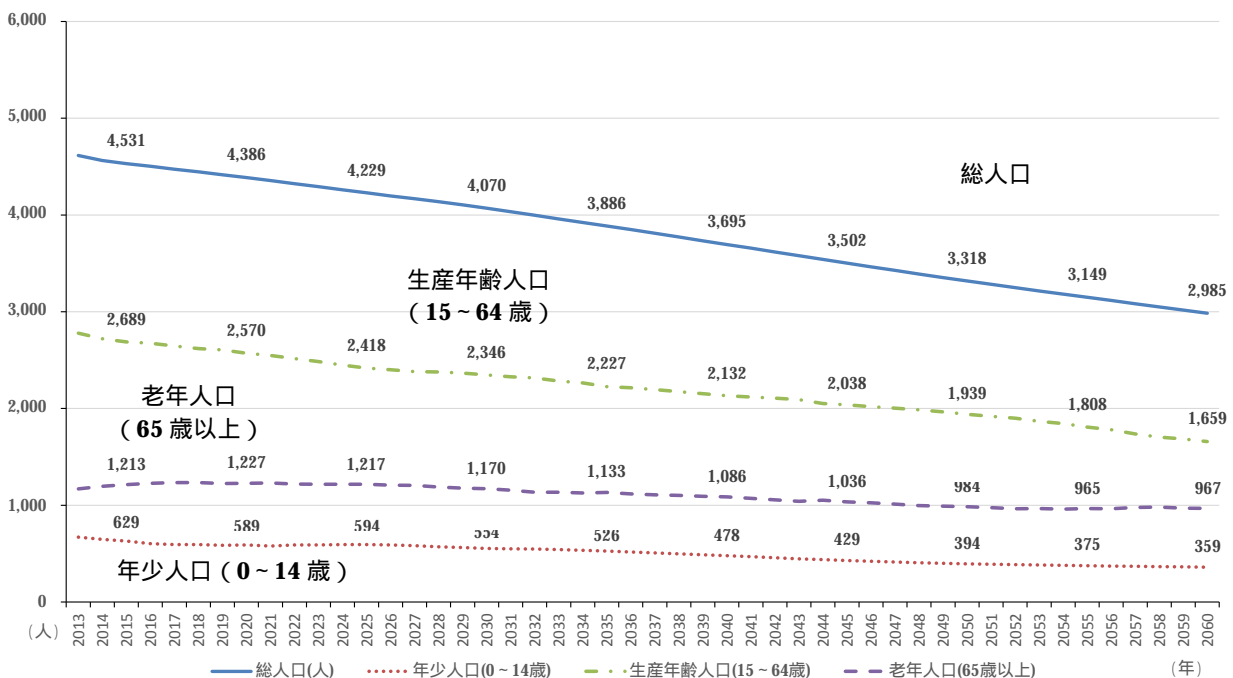


【出典】丹波市(住民基本台帳人口2015年3月末)

将来人口推計

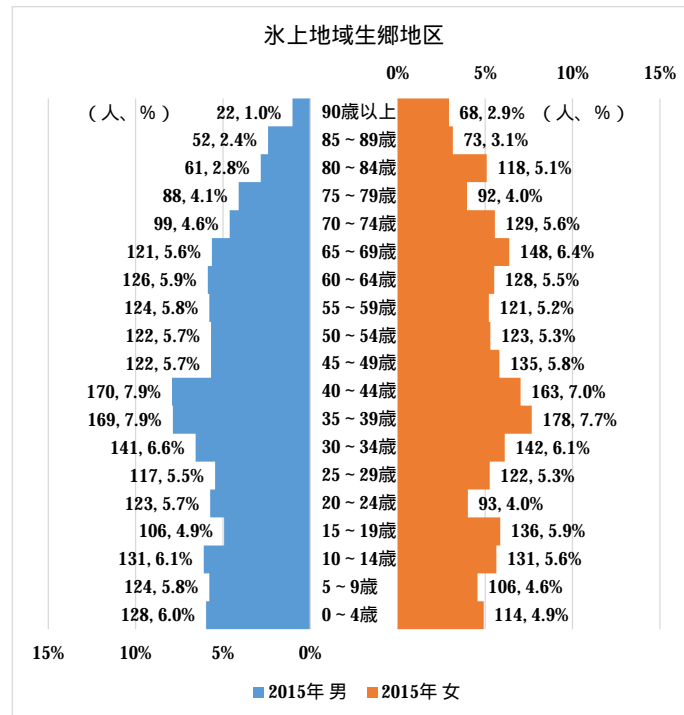
- ・総人口は、2015年の4,531人から、2040年には3,695人(18.5%減)、2060年には2,985人(34.1%減)となる。高齢化率は2040年には29.4%、2060年には32.4%になると推計される。

年齢3区分別将来人口推計



(4) 氷上地域生郷地区

人口ピラミッド(2015年)

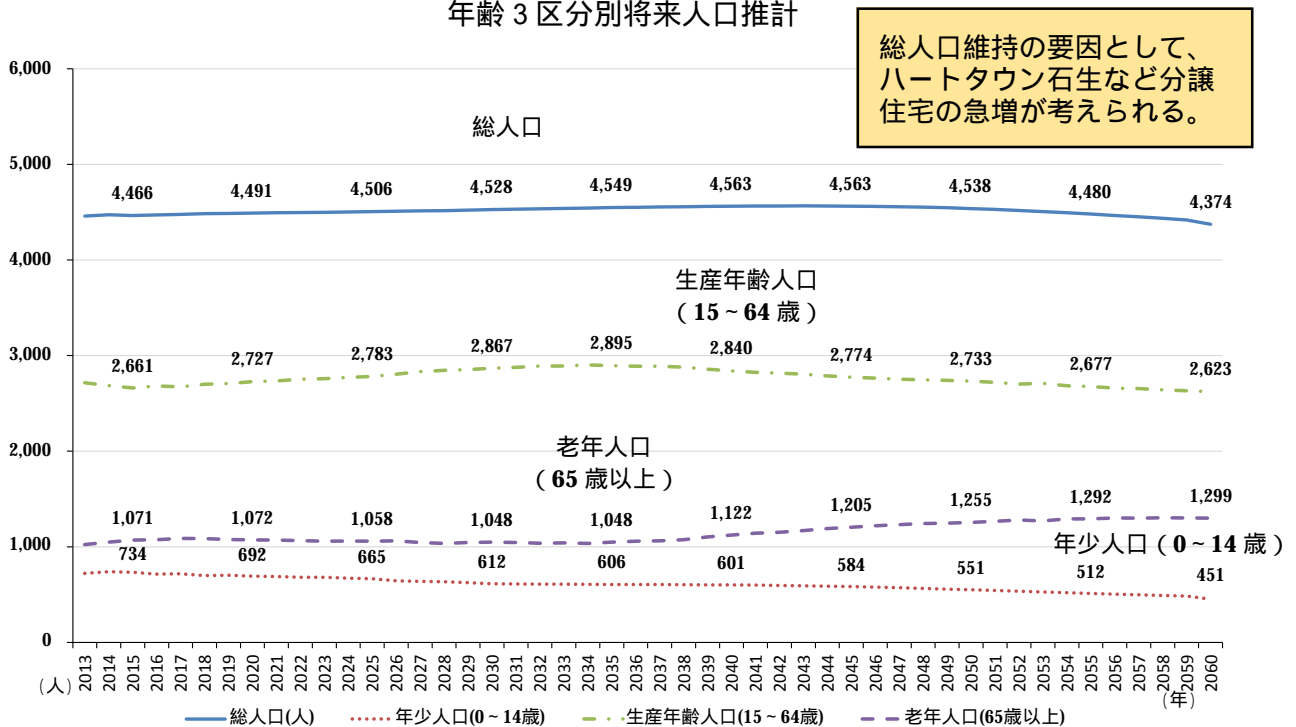


【出典】丹波市(住民基本台帳人口2015年3月末)

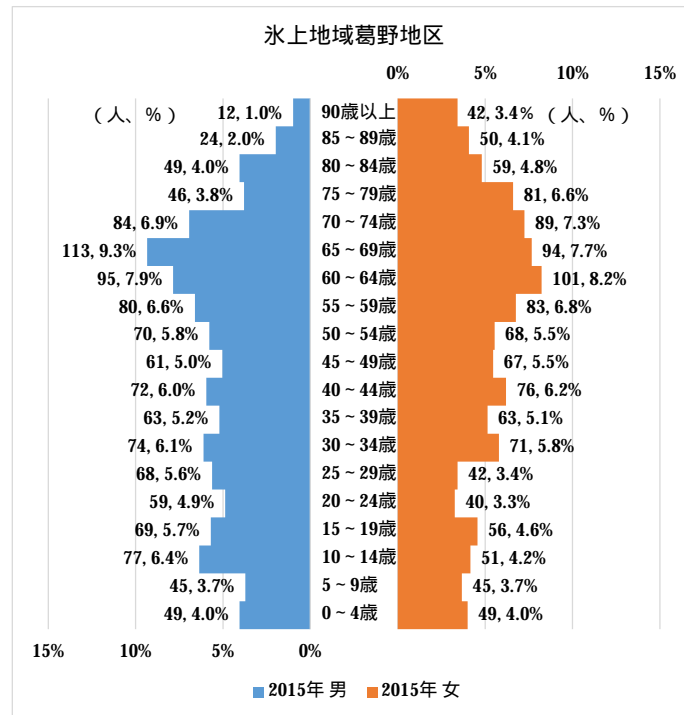
将来人口推計

- ・総人口は、2015年の4,466人から、2040年には4,563人(2.2%増)、2060年には4,374人(2.1%減)となる。高齢化率は2040年には24.6%、2060年には29.7%になると推計される。

年齢3区分別将来人口推計



(5) 氷上地域葛野地区
人口ピラミッド (2015 年)

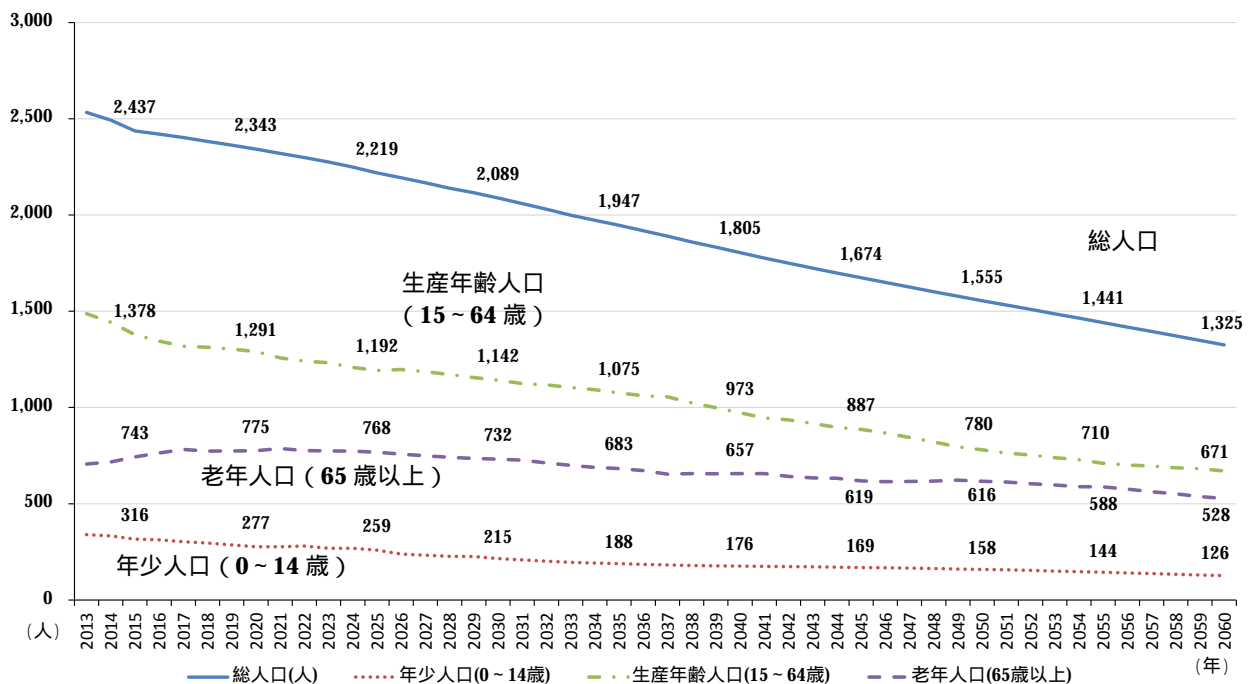


【出典】丹波市 (住民基本台帳人口 2015 年 3 月末)

将来人口推計

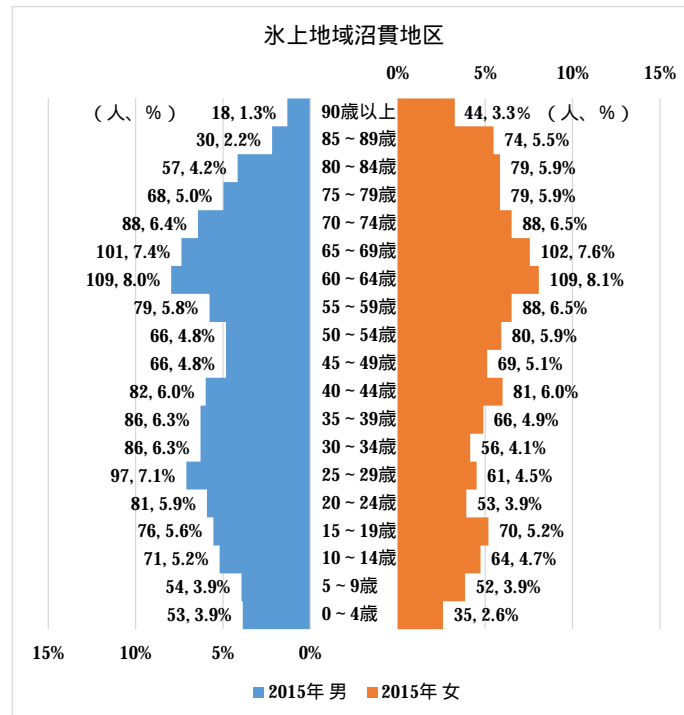
- ・ 総人口は、2015 年の 2,437 人から、2040 年には 1,805 人 (25.9%減)、2060 年には 1,325 人 (45.6%減) となる。高齢化率は 2040 年には 36.4%、2060 年には 39.9%になると推計される。

年齢 3 区分別将来人口推計



(6) 氷上地域沼貫地区

人口ピラミッド(2015年)

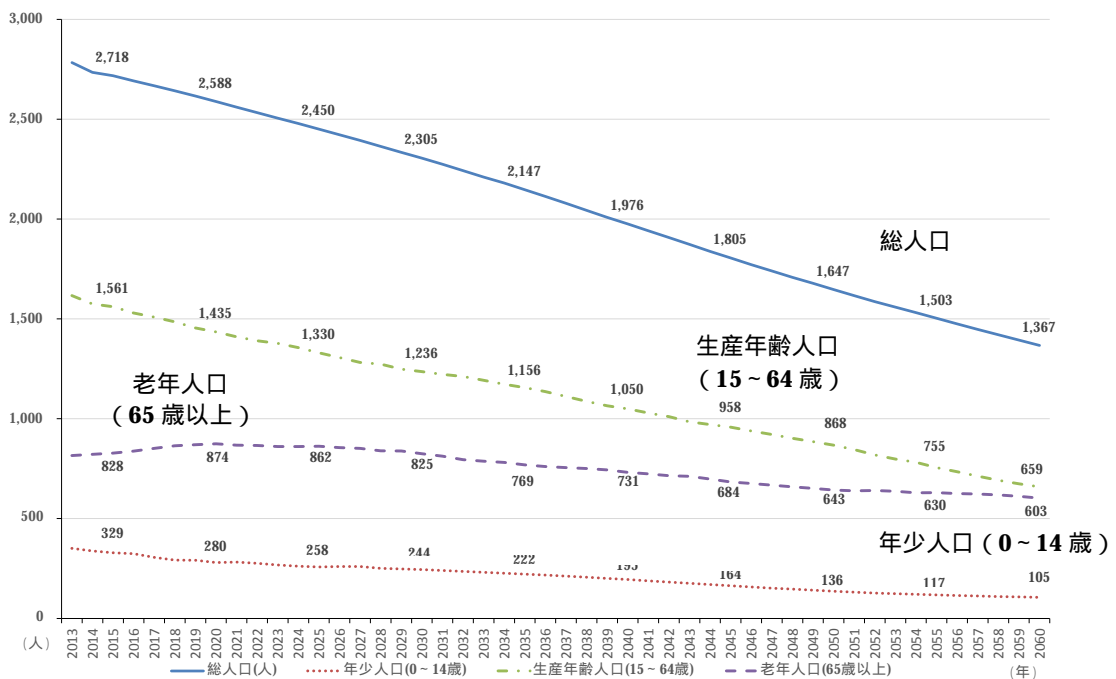


【出典】丹波市(住民基本台帳人口2015年3月末)

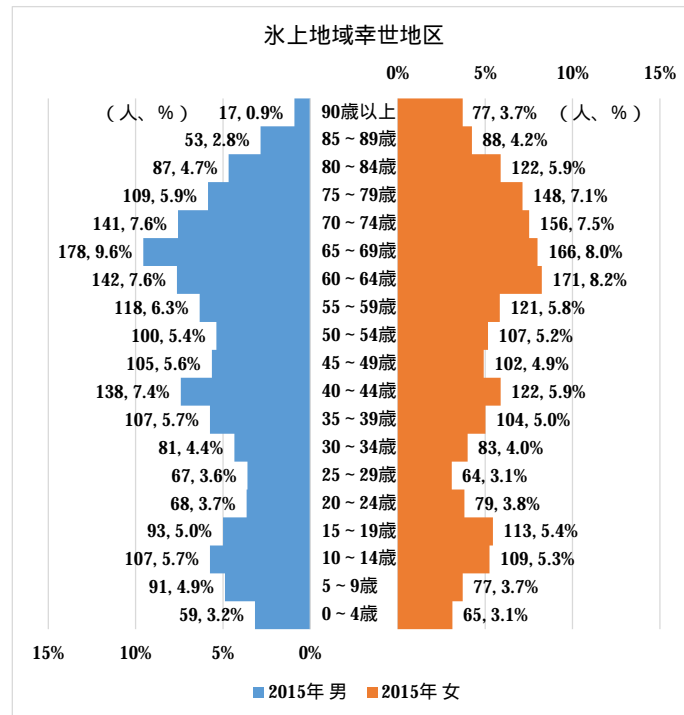
将来人口推計

- ・総人口は、2015年の2,718人から、2040年には1,976人(27.3%減)、2060年には1,367人(49.7%減)となる。高齢化率は2040年には37.0%、2060年には44.1%になると推計される。

年齢3区分別将来人口推計



(7) 氷上地域幸世地区
人口ピラミッド(2015年)

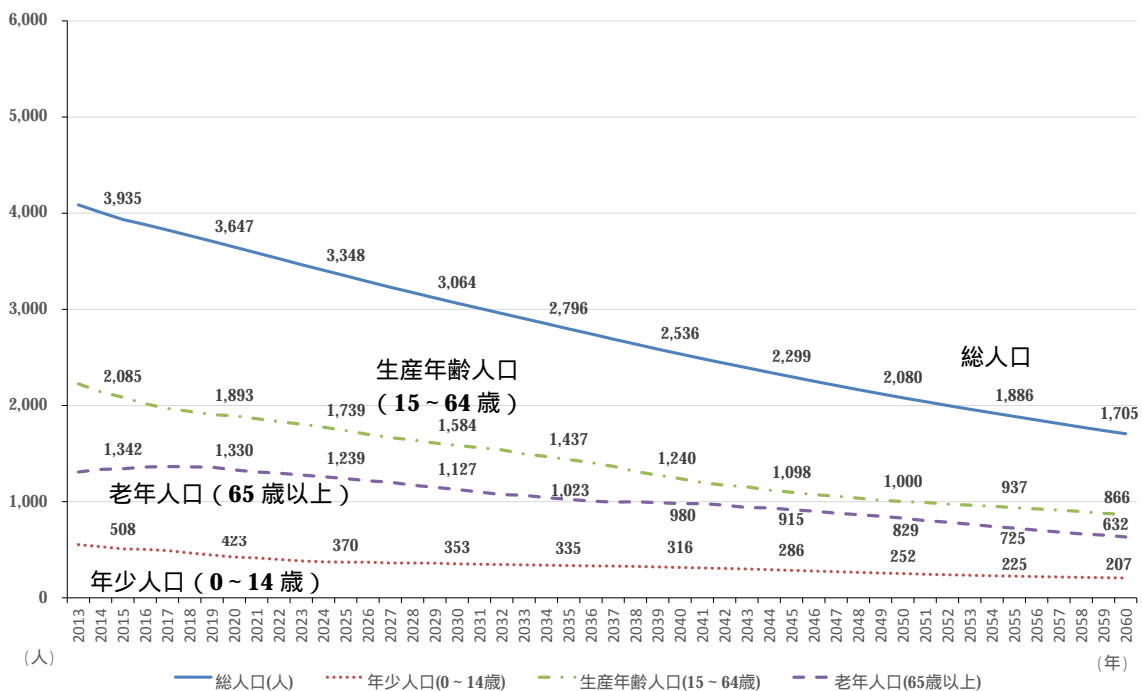


【出典】丹波市(住民基本台帳人口2015年3月末)

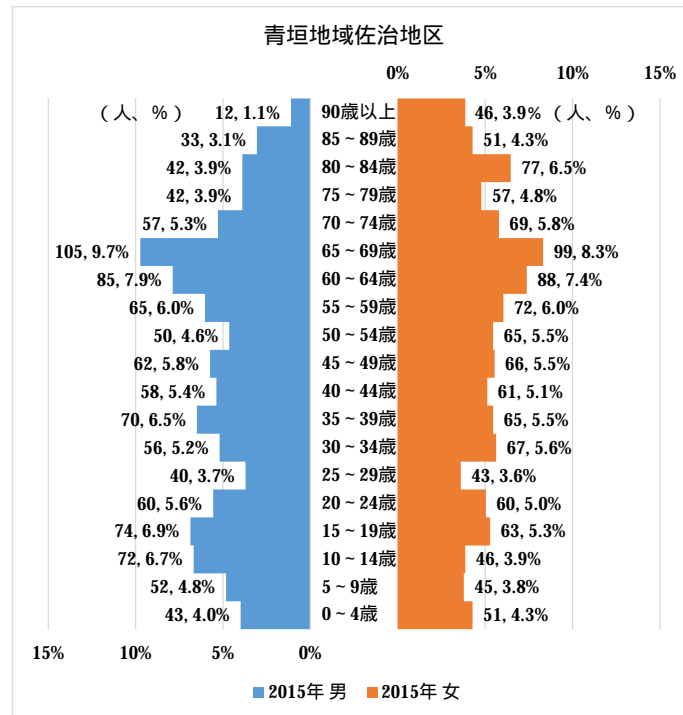
将来人口推計

- ・総人口は、2015年の3,935人から、2040年には2,536人(35.6%減)、2060年には1,705人(56.7%減)となる。高齢化率は2040年には38.6%、2060年には37.1%になると推計される。

年齢3区分別将来人口推計



(8) 青垣地域佐治地区
人口ピラミッド (2015 年)

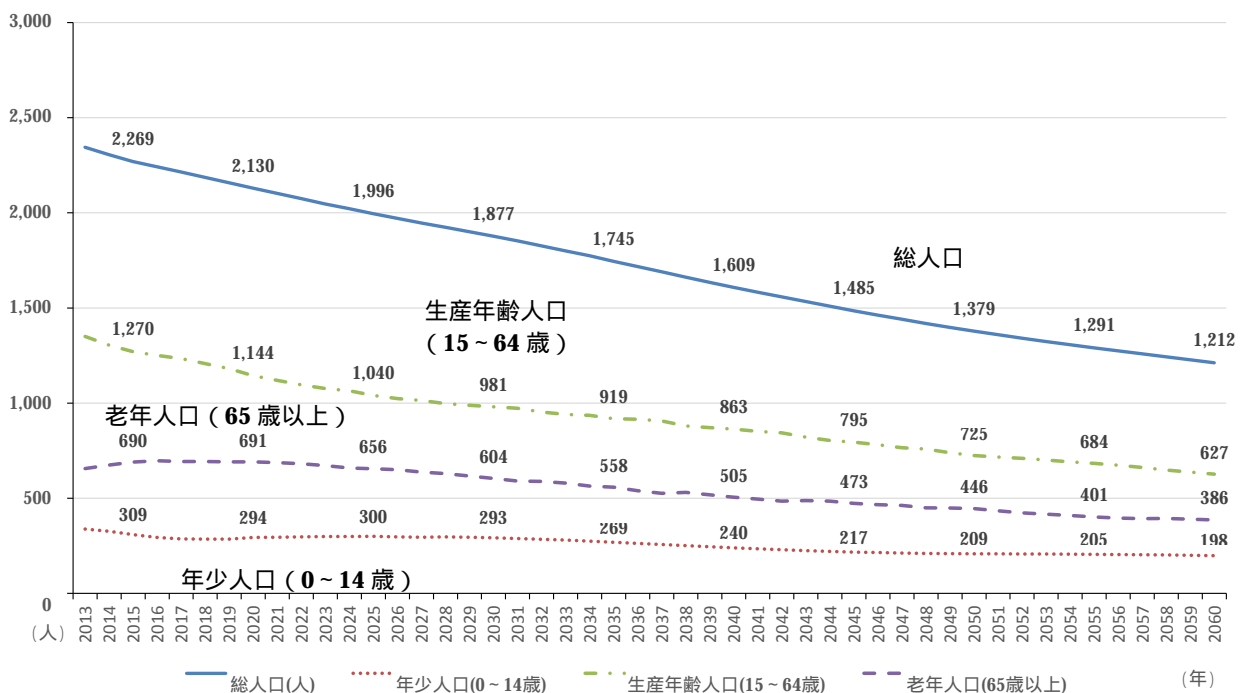


【出典】丹波市 (住民基本台帳人口 2015 年 3 月末)

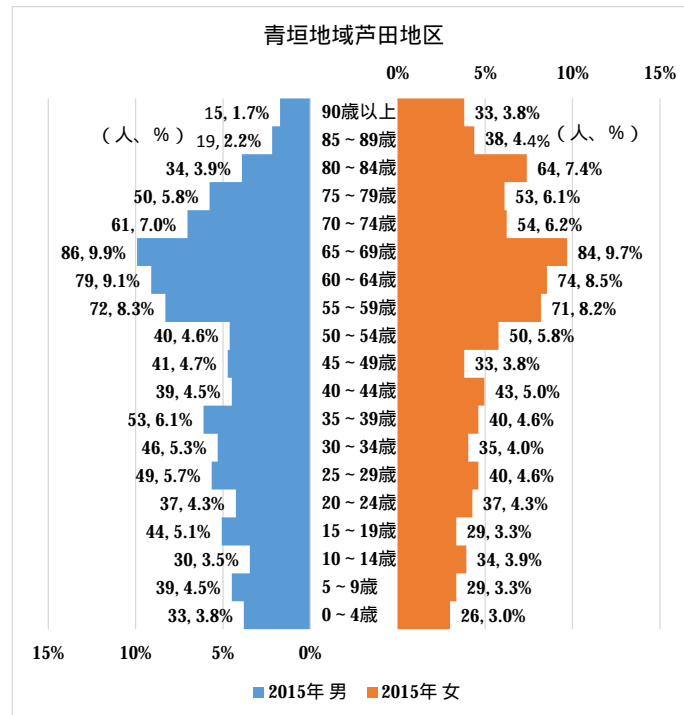
将来人口推計

- ・ 総人口は、2015 年の 2,269 人から、2040 年には 1,609 人 (29.1%減)、2060 年には 1,212 人 (46.6%減) となる。高齢化率は 2040 年には 31.4%、2060 年には 31.9%になると推計される。

年齢 3 区分別将来人口推計



(9) 青垣地域芦田地区
人口ピラミッド(2015年)

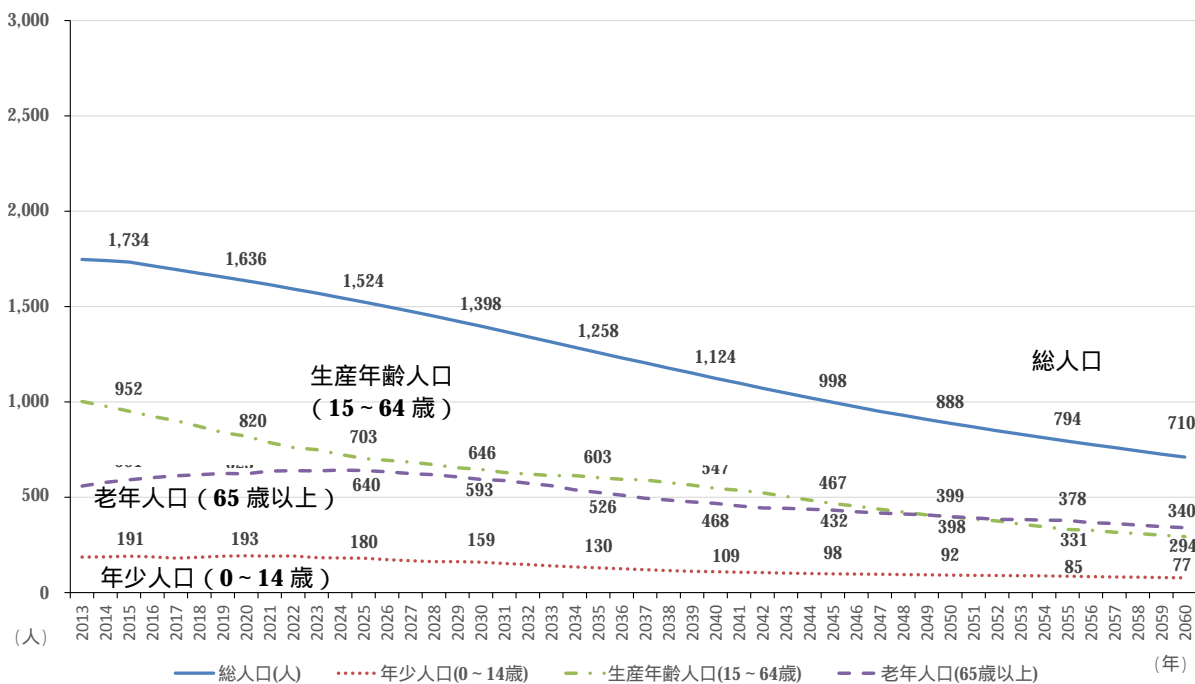


【出典】丹波市(住民基本台帳人口2015年3月末)

将来人口推計

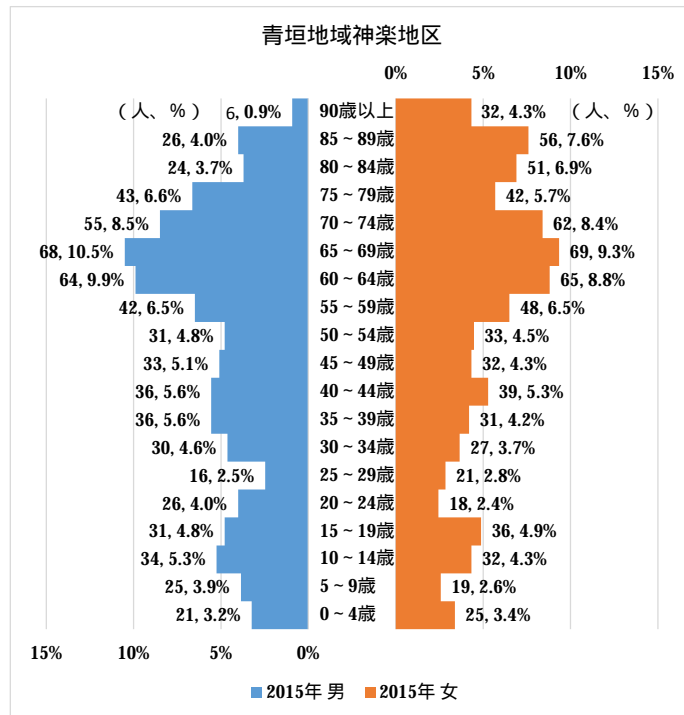
- ・総人口は、2015年の1,734人から、2040年には1,124人(35.2%減)、2060年には710人(59.1%減)となる。高齢化率は2040年には41.6%、2060年には47.9%になると推計される。

年齢3区分別将来人口推計



(1 0) 青垣地域神楽地区

人口ピラミッド (2015 年)

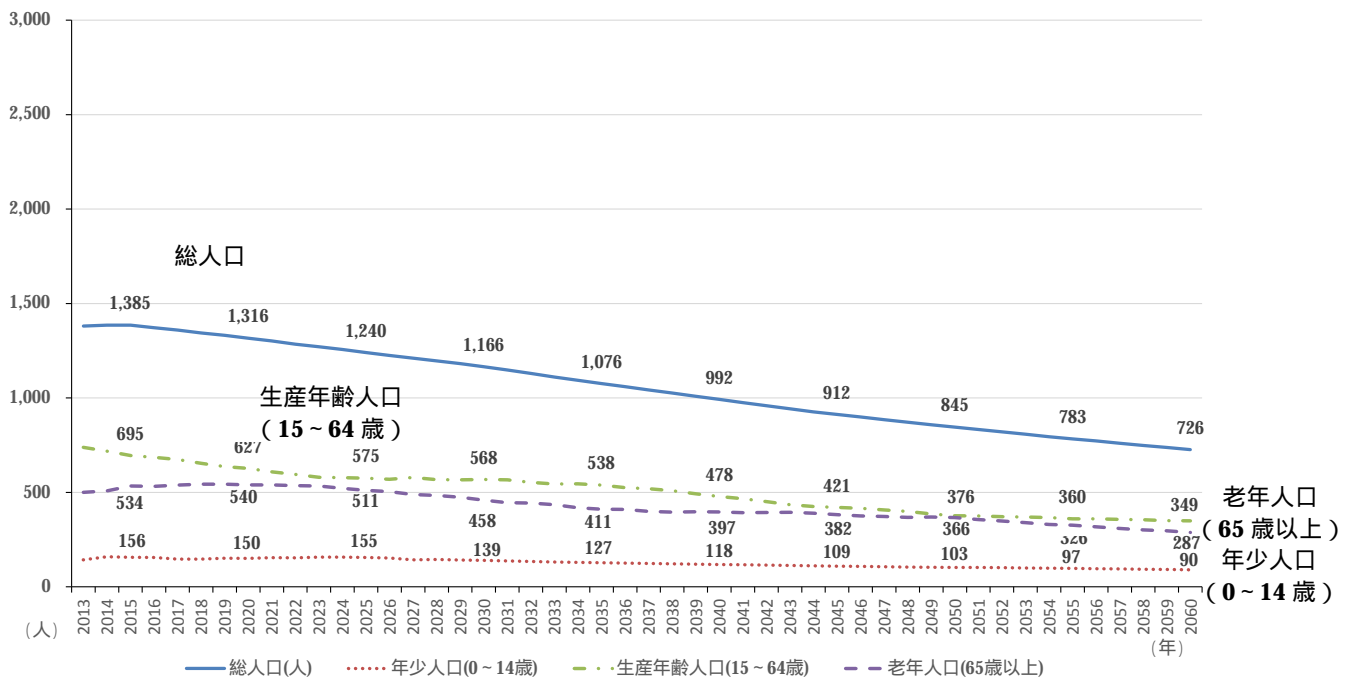


【出典】丹波市 (住民基本台帳人口 2015 年 3 月末)

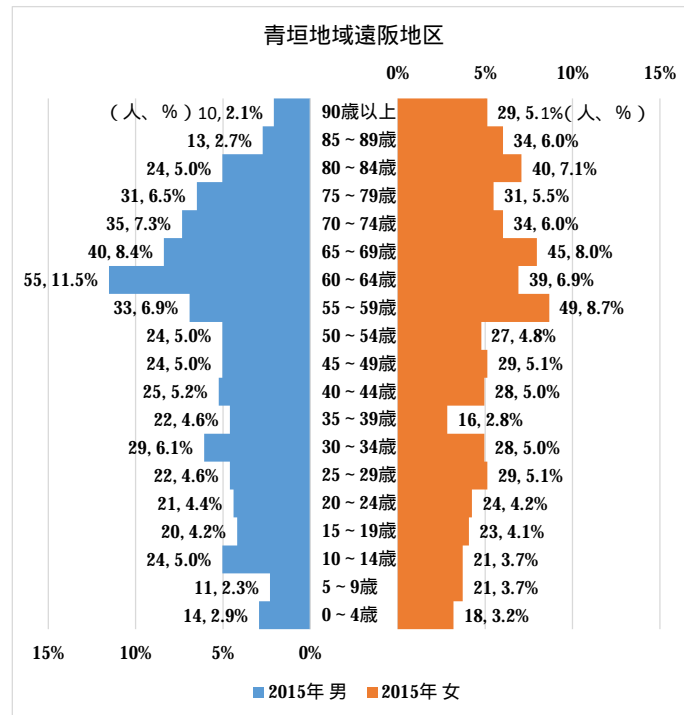
将来人口推計

- ・総人口は、2015 年の 1,385 人から、2040 年には 992 人 (28.4%減)、2060 年には 726 人 (47.6%減) となる。高齢化率は 2040 年には 40.0%、2060 年には 39.5%になると推計される。

年齢 3 区分別将来人口推計



(1 1) 青垣地域遠阪地区
人口ピラミッド (2015 年)

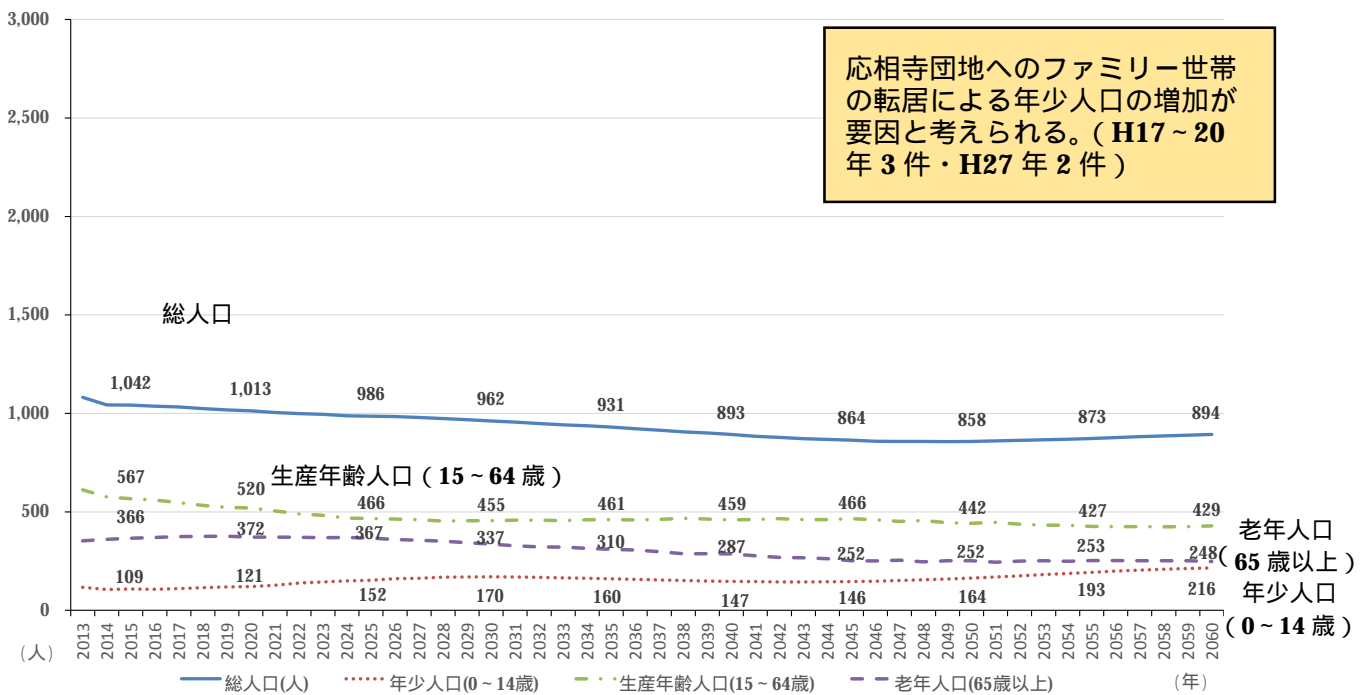


【出典】丹波市 (住民基本台帳人口 2015 年 3 月末)

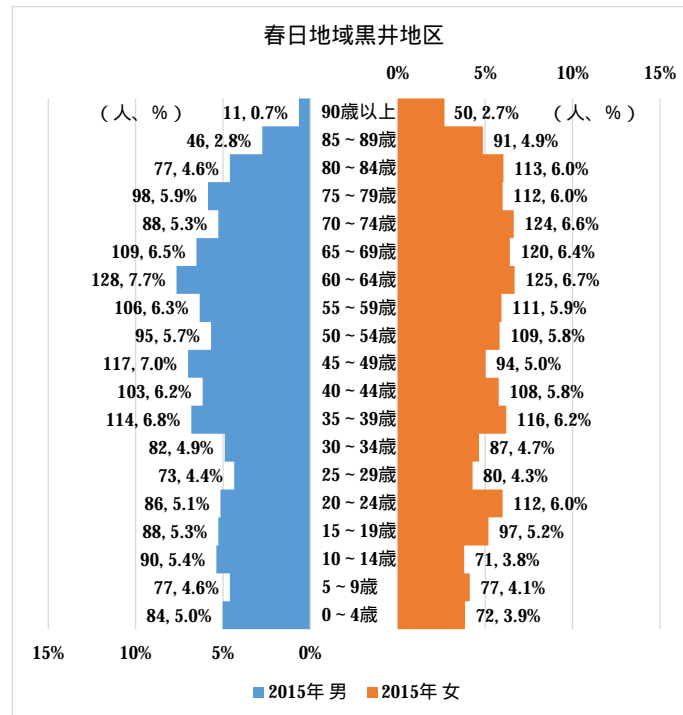
将来人口推計

- ・総人口は、2015年の1,042人から、2040年には893人(14.3%減)、2060年には894人(14.2%減)となる。高齢化率は2040年には32.1%、2060年には27.7%になると推計される。

年齢3区分別将来人口推計



(1 2) 春日地域黒井地区
人口ピラミッド (2015 年)

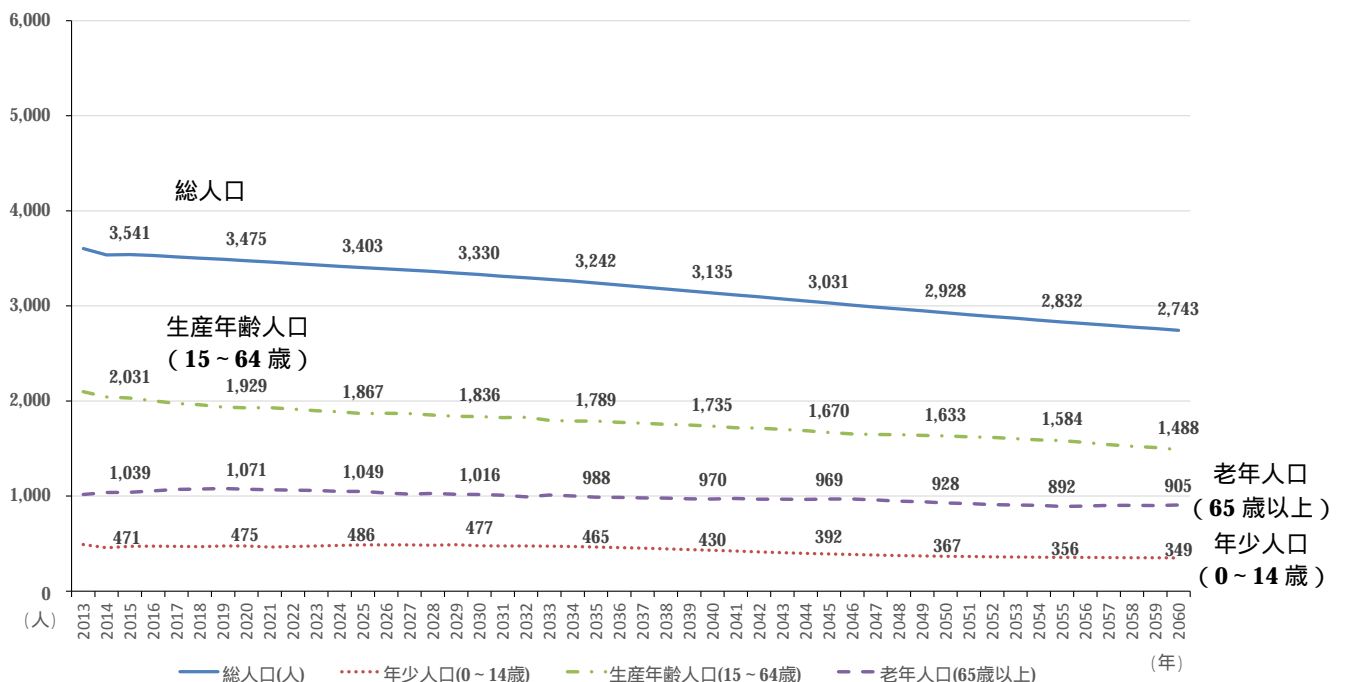


【出典】丹波市 (住民基本台帳人口 2015 年 3 月末)

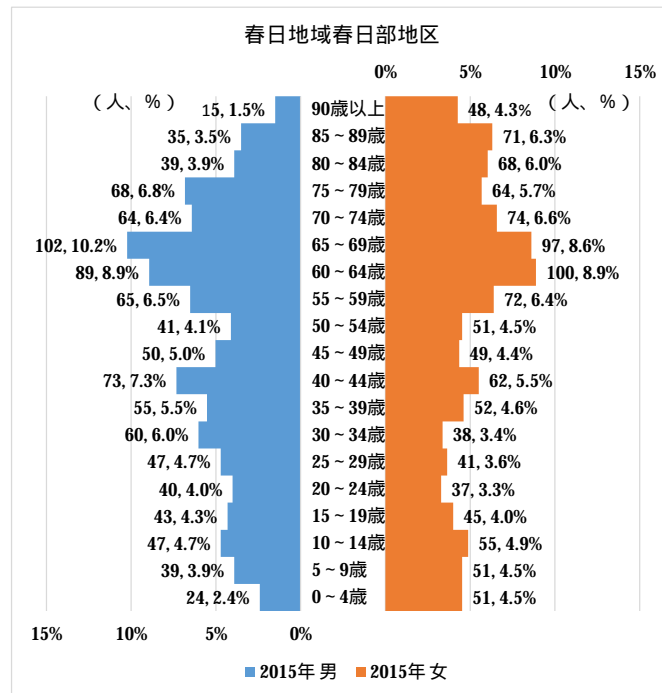
将来人口推計

- ・総人口は、2015 年の 3,541 人から、2040 年には 3,135 人 (11.5%減)、2060 年には 2,743 人 (22.5%減) となる。高齢化率は 2040 年には 30.9%、2060 年には 33.0%になると推計される。

年齢 3 区分別将来人口推計



(13) 春日地域春日部地区
人口ピラミッド(2015年)

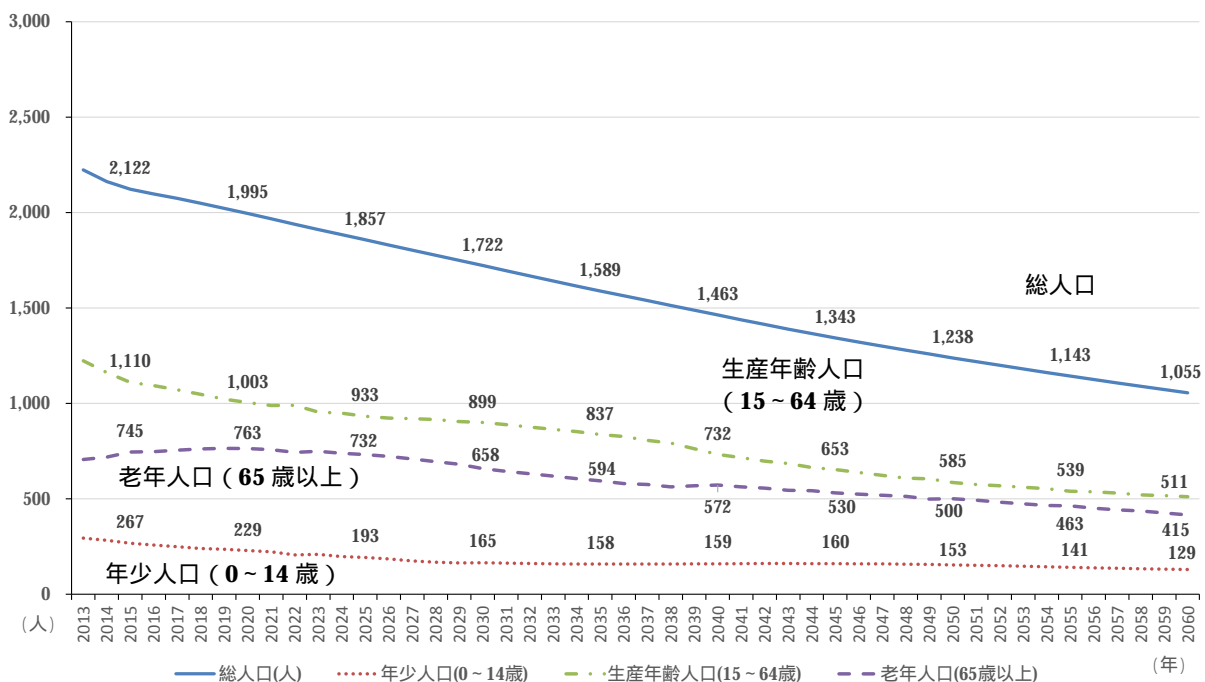


【出典】丹波市(住民基本台帳人口2015年3月末)

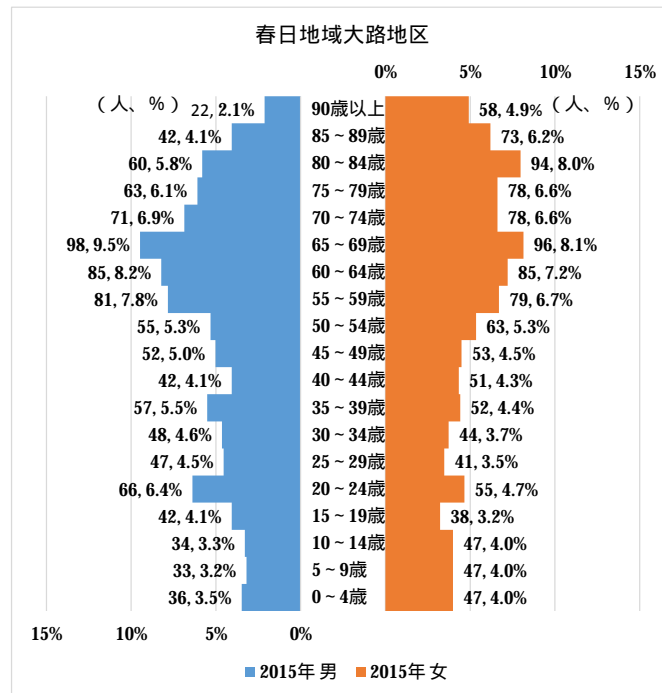
将来人口推計

- ・総人口は、2015年の2,122人から、2040年には1,463人(31.1%減)、2060年には1,055人(50.3%減)となる。高齢化率は2040年には39.1%、2060年には48.4%になると推計される。

年齢3区分別将来人口推計



(14) 春日地域大路地区
人口ピラミッド(2015年)

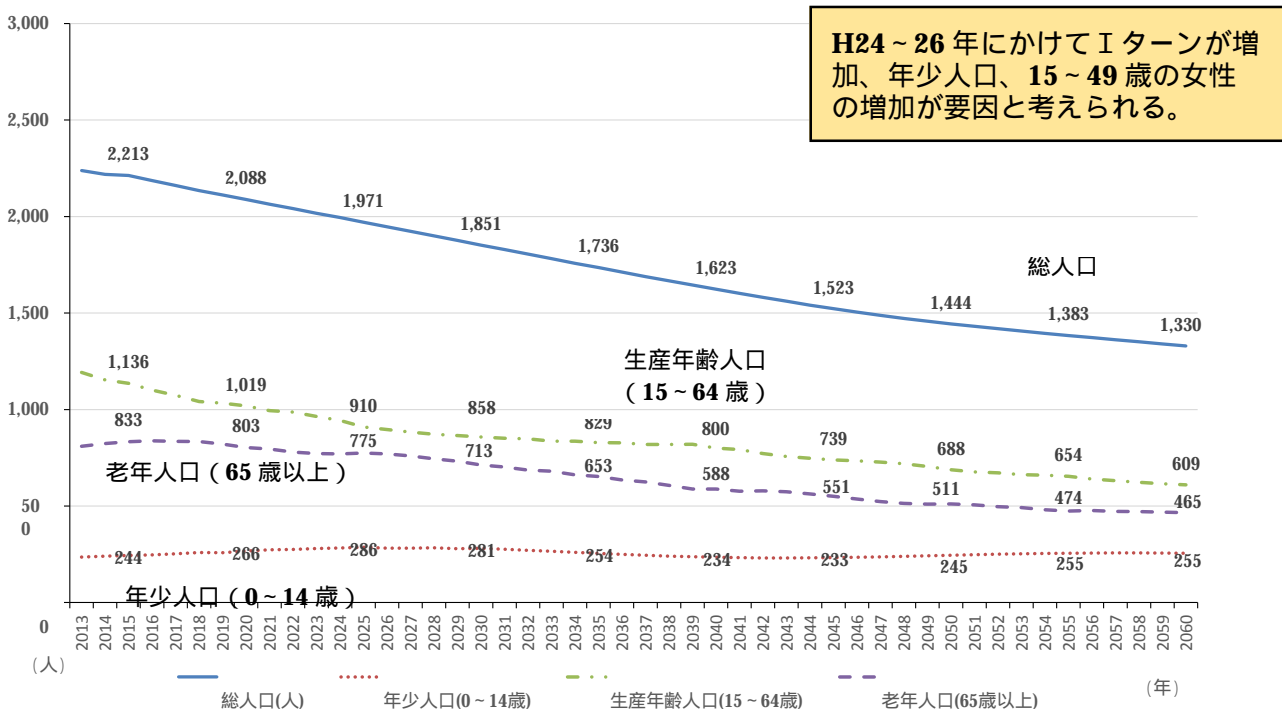


【出典】丹波市(住民基本台帳人口2015年3月末)

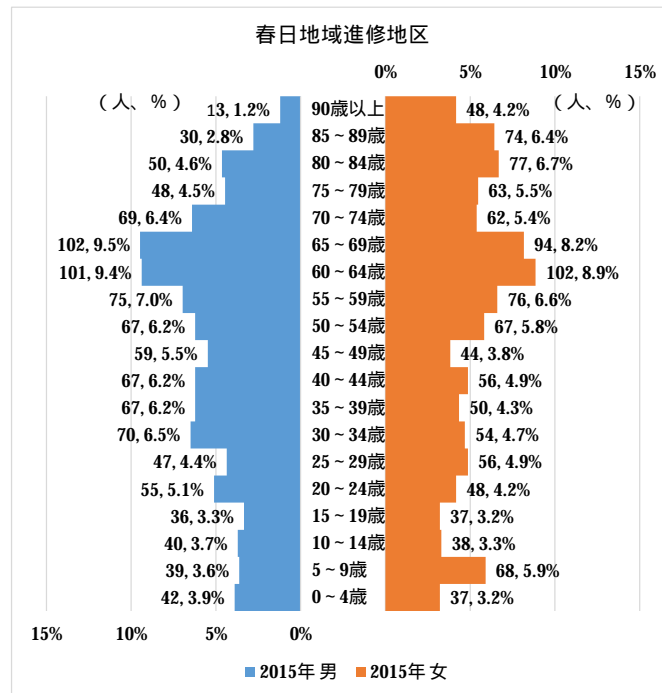
将来人口推計

- ・総人口は、2015年の2,213人から、2040年には1,623人(26.7%減)、2060年には1,330人(39.9%減)となる。高齢化率は2040年には36.2%、2060年には35.0%になると推計される。

年齢3区分別将来人口推計



(15) 春日地域進修地区
人口ピラミッド(2015年)

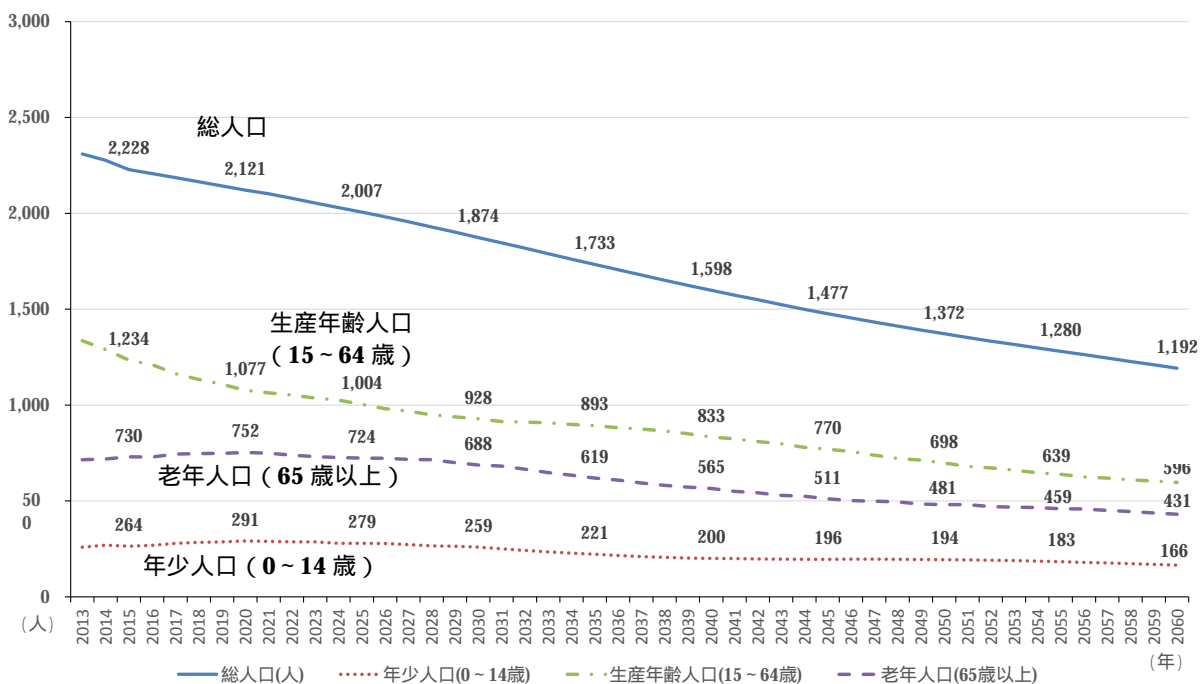


【出典】丹波市(住民基本台帳人口2015年3月末)

将来人口推計

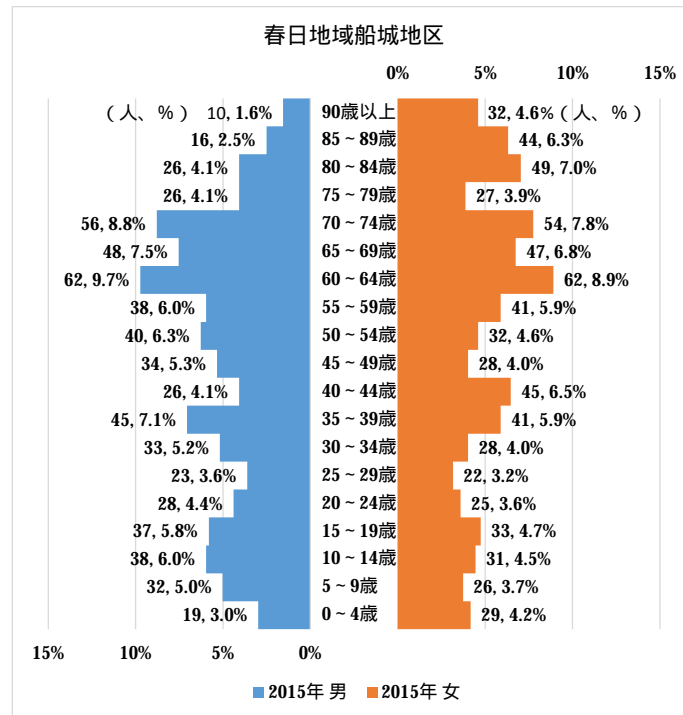
- ・総人口は、2015年の2,228人から、2040年には1,598人(28.3%減)、2060年には1,192人(46.5%減)となる。高齢化率は2040年には35.4%、2060年には36.2%になると推計される。

年齢3区分別将来人口推計



(1 6) 春日地域船城地区

人口ピラミッド (2015 年)

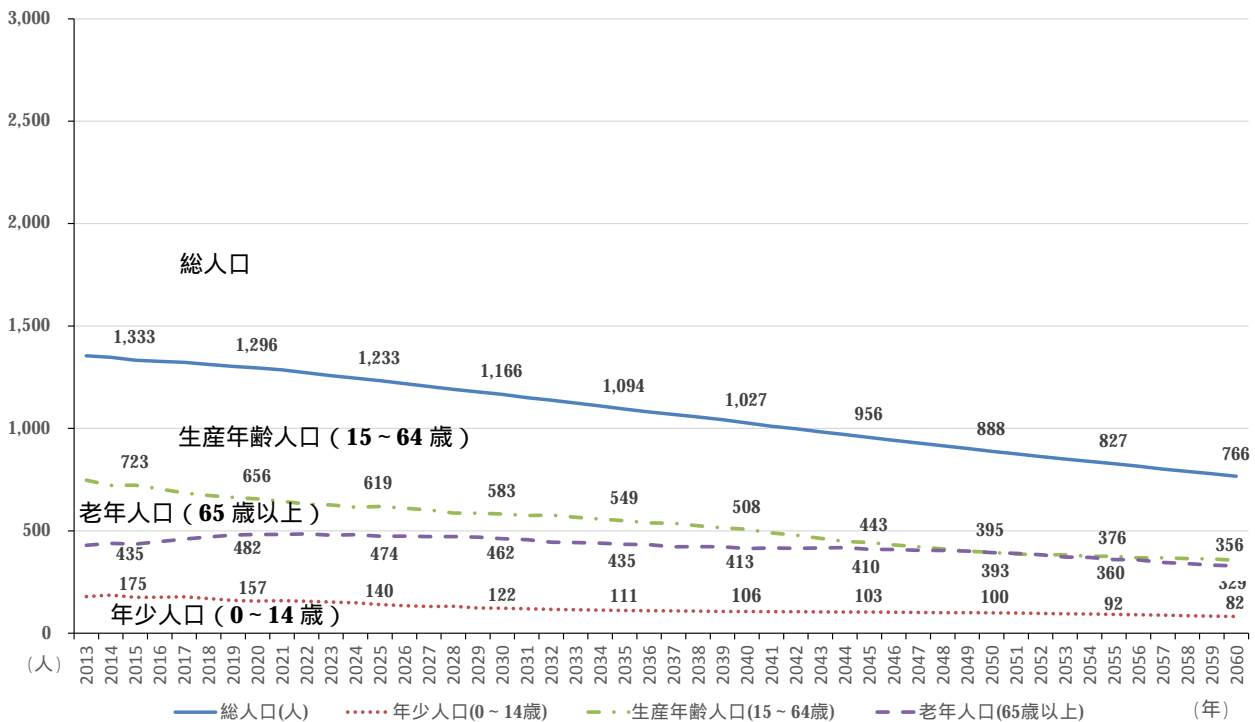


【出典】丹波市 (住民基本台帳人口 2015 年 3 月末)

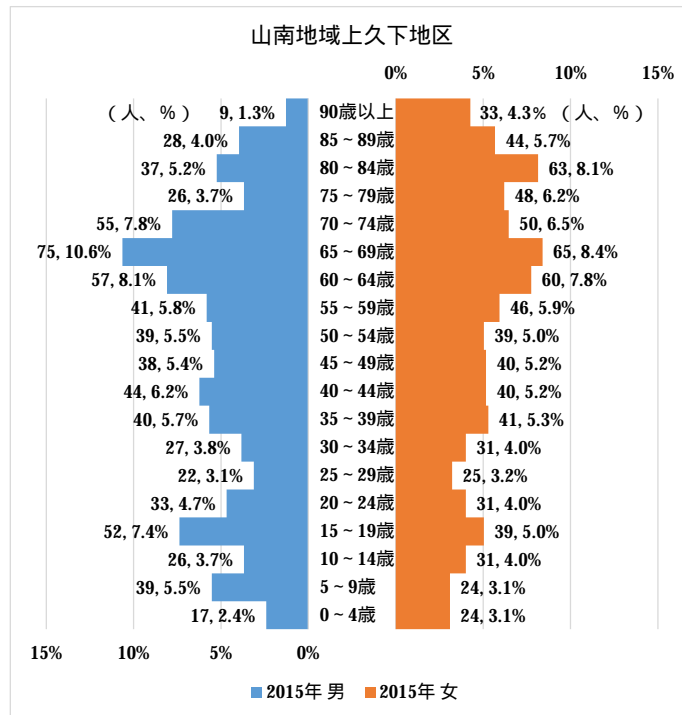
将来人口推計

- ・総人口は、2015 年の 1,333 人から、2040 年には 1,027 人 (23.0%減)、2060 年には 766 人 (42.5%減) となる。高齢化率は 2040 年には 40.2%、2060 年には 43.0%になると推計される。

年齢 3 区分別将来人口推計



(17) 山南地域上久下地区
人口ピラミッド(2015年)

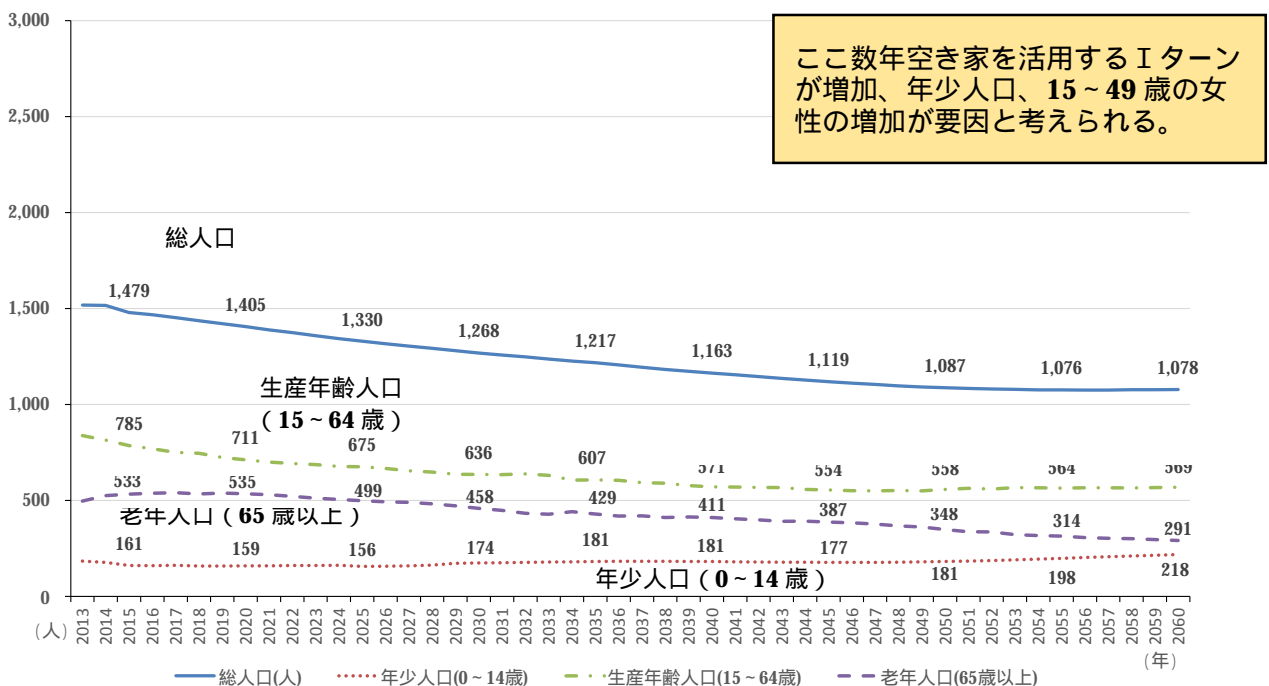


【出典】丹波市(住民基本台帳人口2015年3月末)

将来人口推計

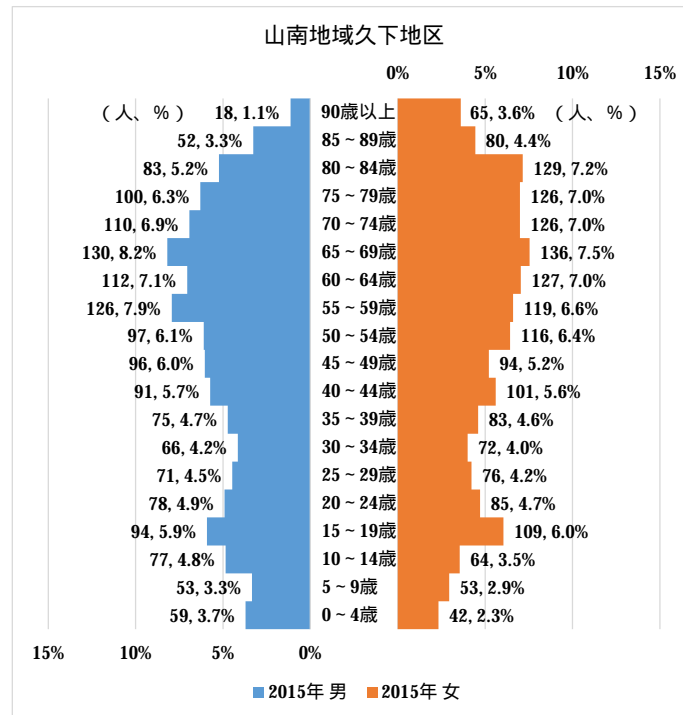
- ・総人口は、2015年の1,479人から、2040年には1,163人(21.4%減)、2060年には1,078人(27.1%減)となる。高齢化率は2040年には35.3%、2060年には27.0%になると推計される。

年齢3区分別将来人口推計



(18) 山南地域久下地区

人口ピラミッド(2015年)

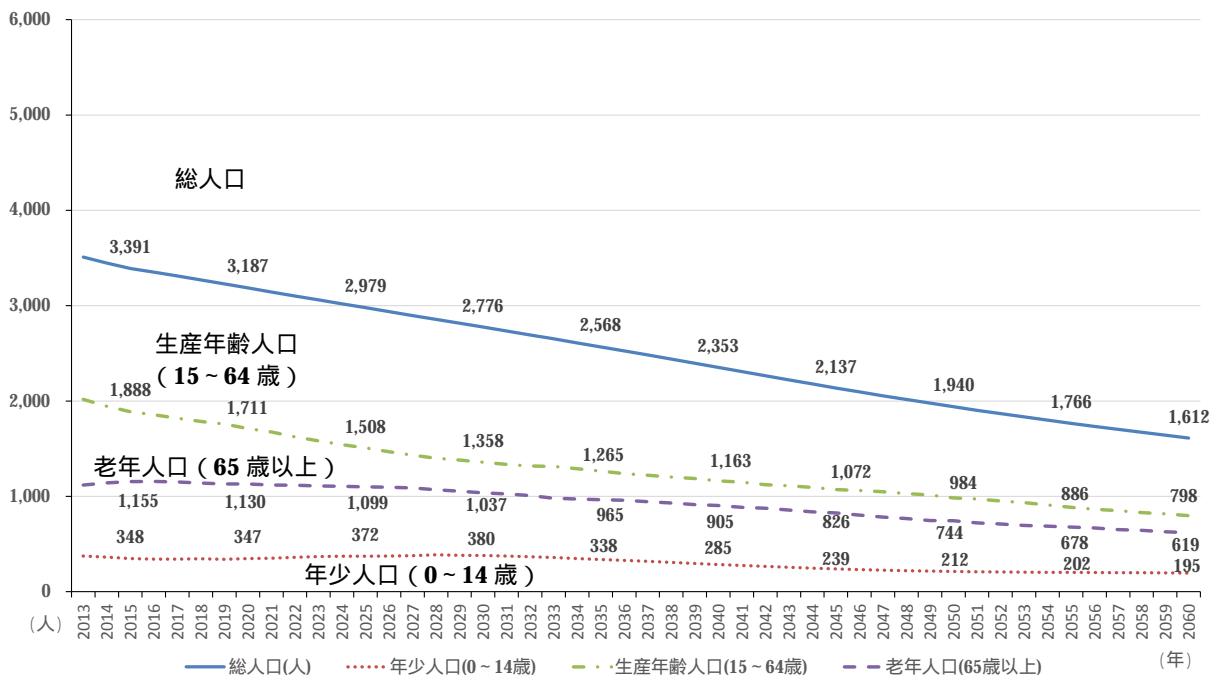


【出典】丹波市(住民基本台帳人口2015年3月末)

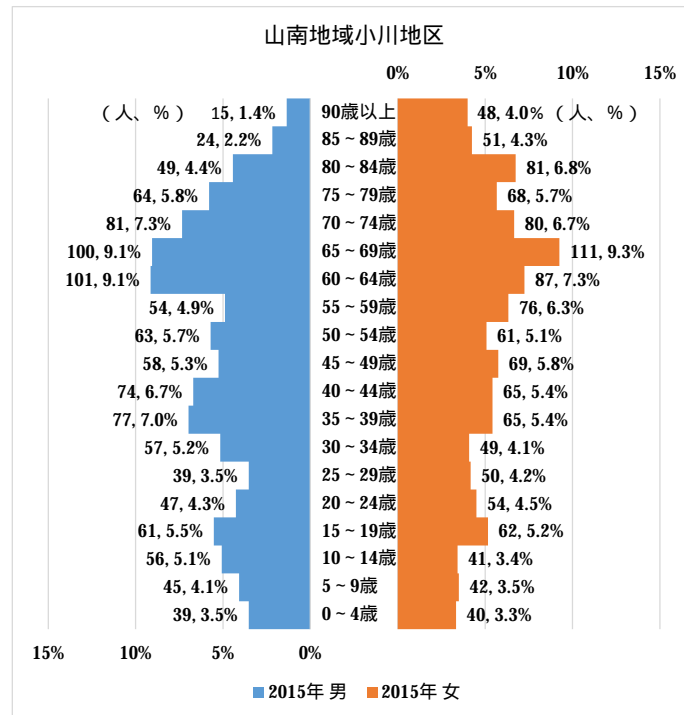
将来人口推計

- ・総人口は、2015年の3,391人から、2040年には2,353人(30.6%減)、2060年には1,612人(52.5%減)となる。高齢化率は2040年には38.5%、2060年には38.4%になると推計される。

年齢3区分別将来人口推計



(1 9) 山南地域小川地区
人口ピラミッド (2015 年)

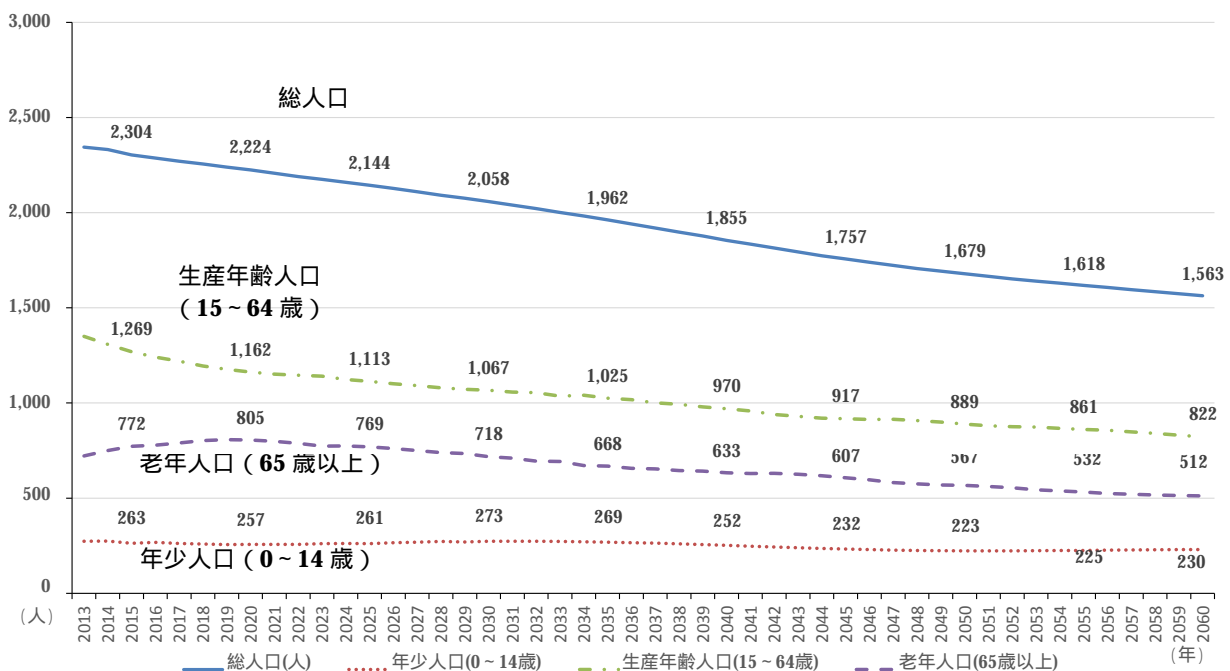


【出典】丹波市（住民基本台帳人口 2015 年 3 月末）

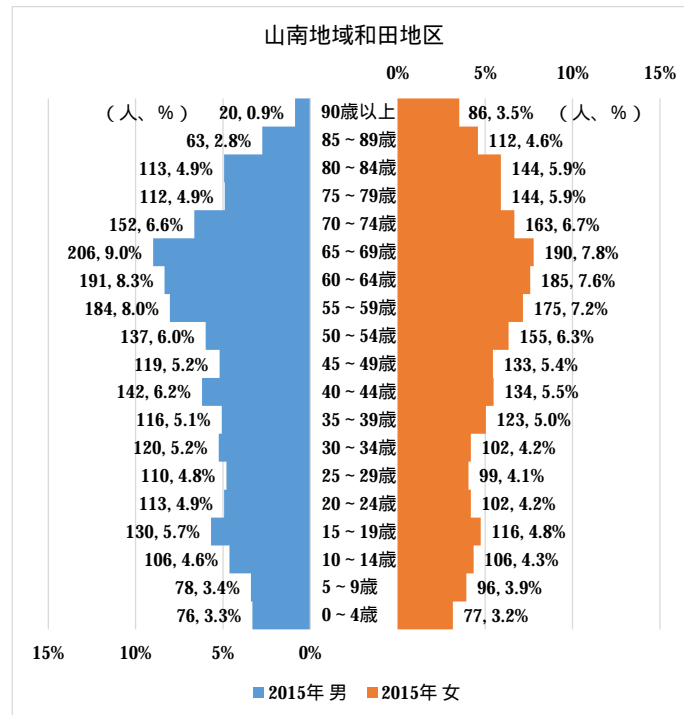
将来人口推計

- ・総人口は、2015 年の 2,304 人から、2040 年には 1,855 人（19.5%減）、2060 年には 1,563 人（32.2%減）となる。高齢化率は 2040 年には 34.1%、2060 年には 32.8%になると推計される。

年齢 3 区分別将来人口推計



(2 0) 山南地域和田地区
人口ピラミッド (2015 年)

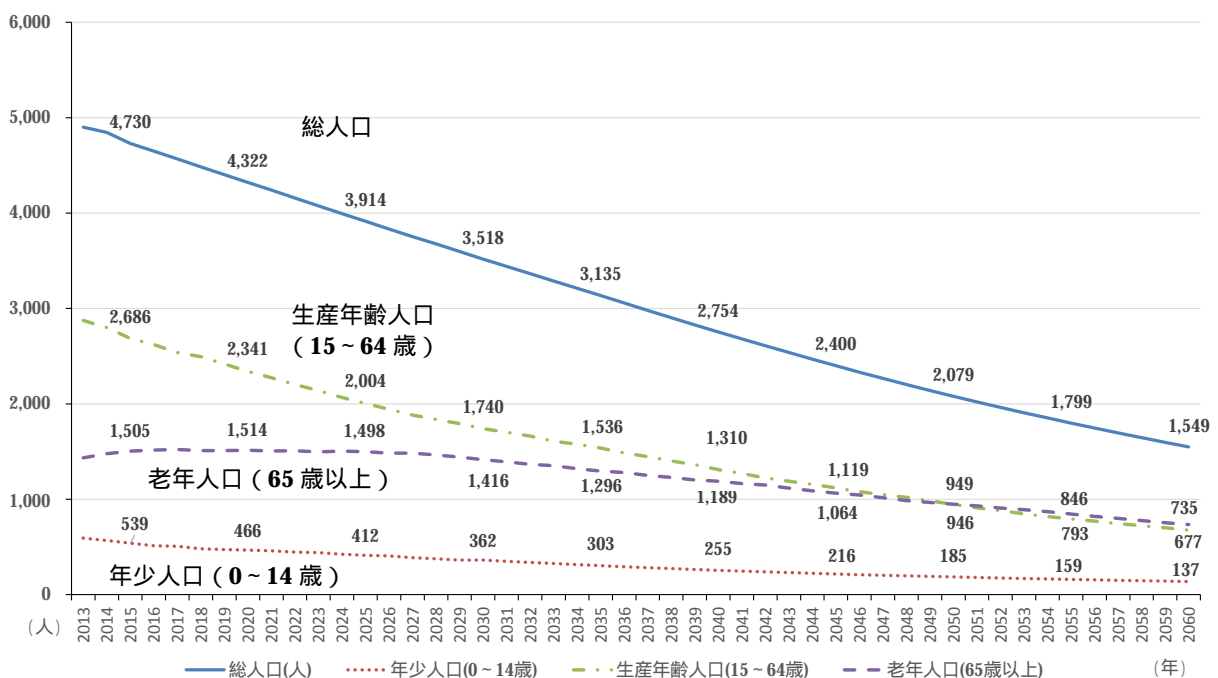


【出典】丹波市 (住民基本台帳人口 2015 年 3 月末)

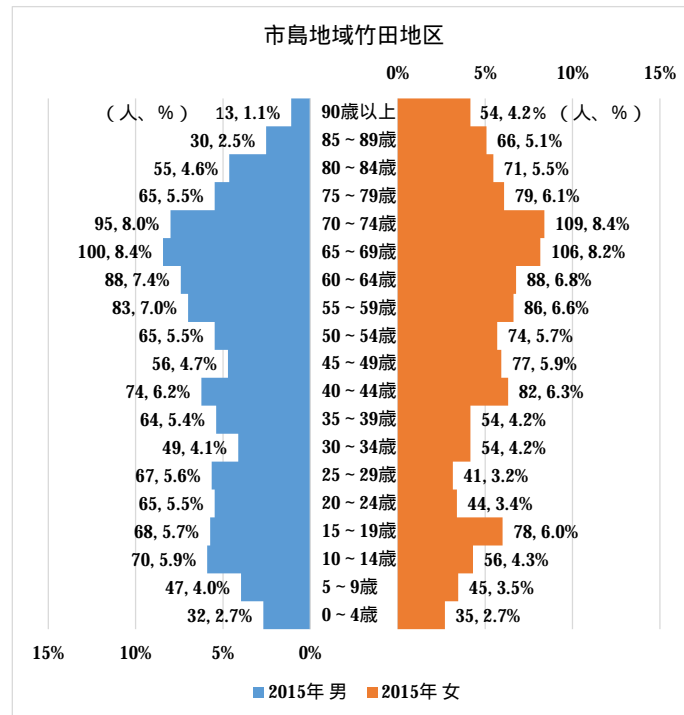
将来人口推計

- ・ 総人口は、2015 年の 4,730 人から、2040 年には 2,754 人 (41.8%減)、2060 年には 1,549 人 (67.3%減) となる。高齢化率は 2040 年には 43.2%、2060 年には 47.5%になると推計される。

年齢 3 区分別将来人口推計



(2 1) 市島地域竹田地区
人口ピラミッド (2015 年)

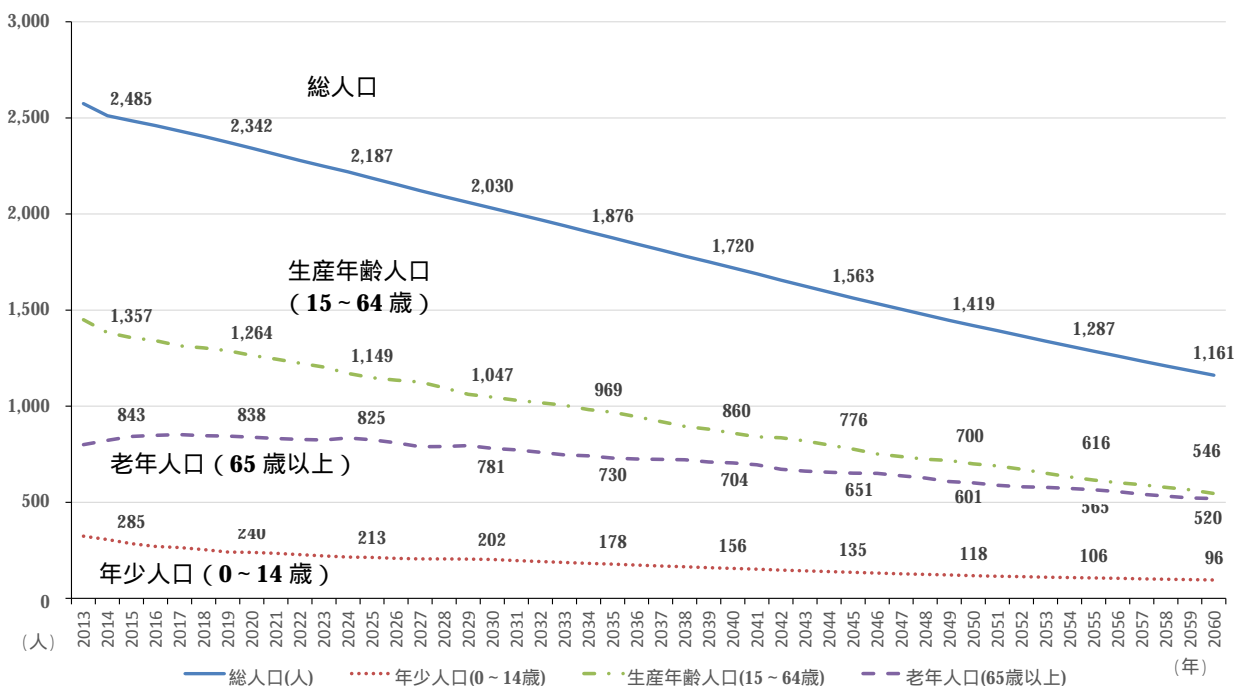


【出典】丹波市 (住民基本台帳人口 2015 年 3 月末)

将来人口推計

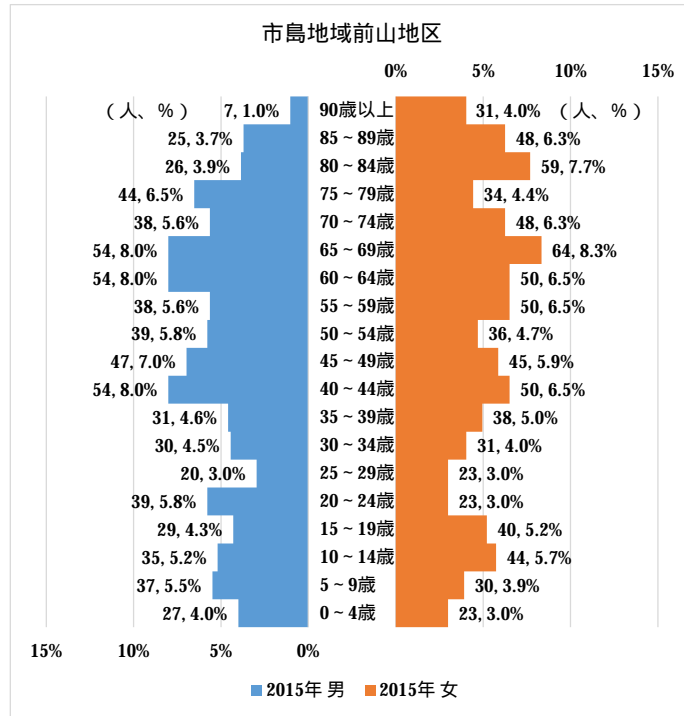
- ・ 総人口は、2015 年の 2,485 人から、2040 年には 1,720 人 (30.8%減)、2060 年には 1,161 人 (53.3%減) となる。高齢化率は 2040 年には 40.9%、2060 年には 44.8%になると推計される。

年齢 3 区分別将来人口推計



(2 2) 市島地域前山地区

人口ピラミッド (2015 年)

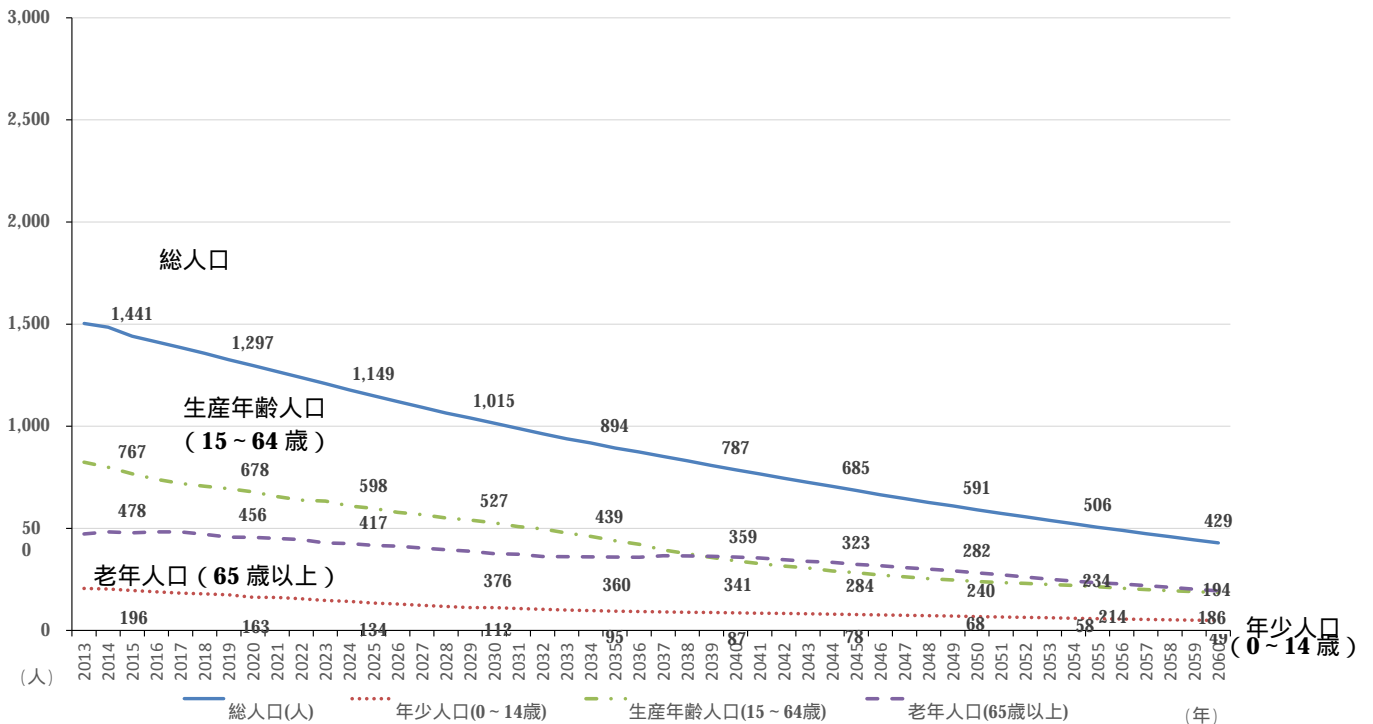


【出典】丹波市 (住民基本台帳人口 2015 年 3 月末)

将来人口推計

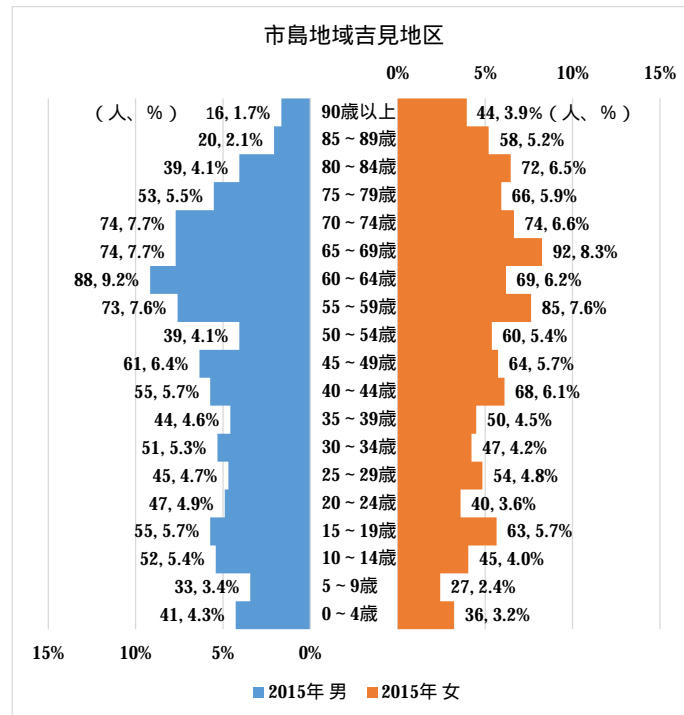
- ・総人口は、2015年の1,441人から、2040年には787人(45.4%減)、2060年には429人(70.2%減)となる。高齢化率は2040年には45.6%、2060年には45.2%になると推計される。

年齢3区分別将来人口推計



(2 3) 市島地域吉見地区

人口ピラミッド (2015 年)

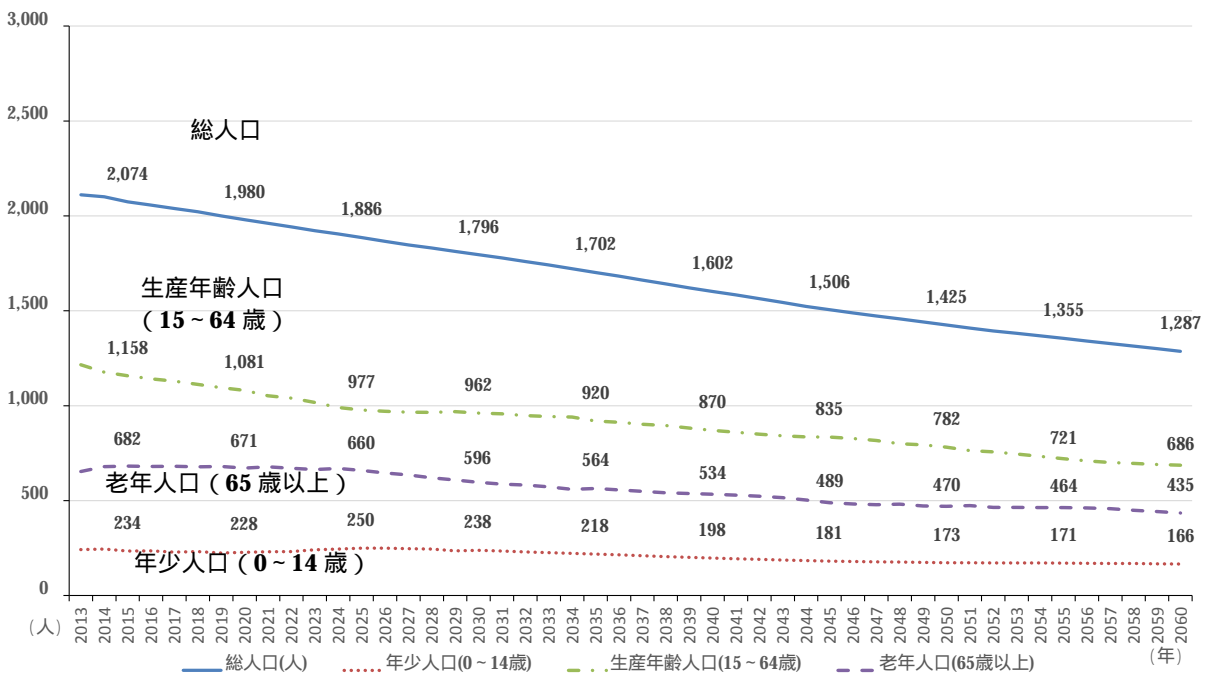


【出典】丹波市 (住民基本台帳人口 2015 年 3 月末)

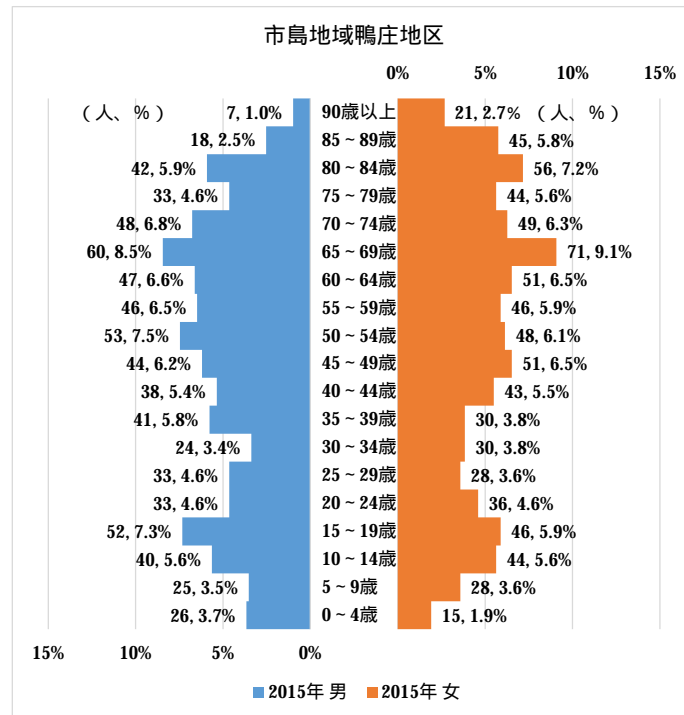
将来人口推計

- ・ 総人口は、2015 年の 2,074 人から、2040 年には 1,602 人 (22.8%減)、2060 年には 1,287 人 (38.0%減) となる。高齢化率は 2040 年には 33.3%、2060 年には 33.8%になると推計される。

年齢 3 区分別将来人口推計



(2 4) 市島地域鴨庄地区
人口ピラミッド (2015 年)

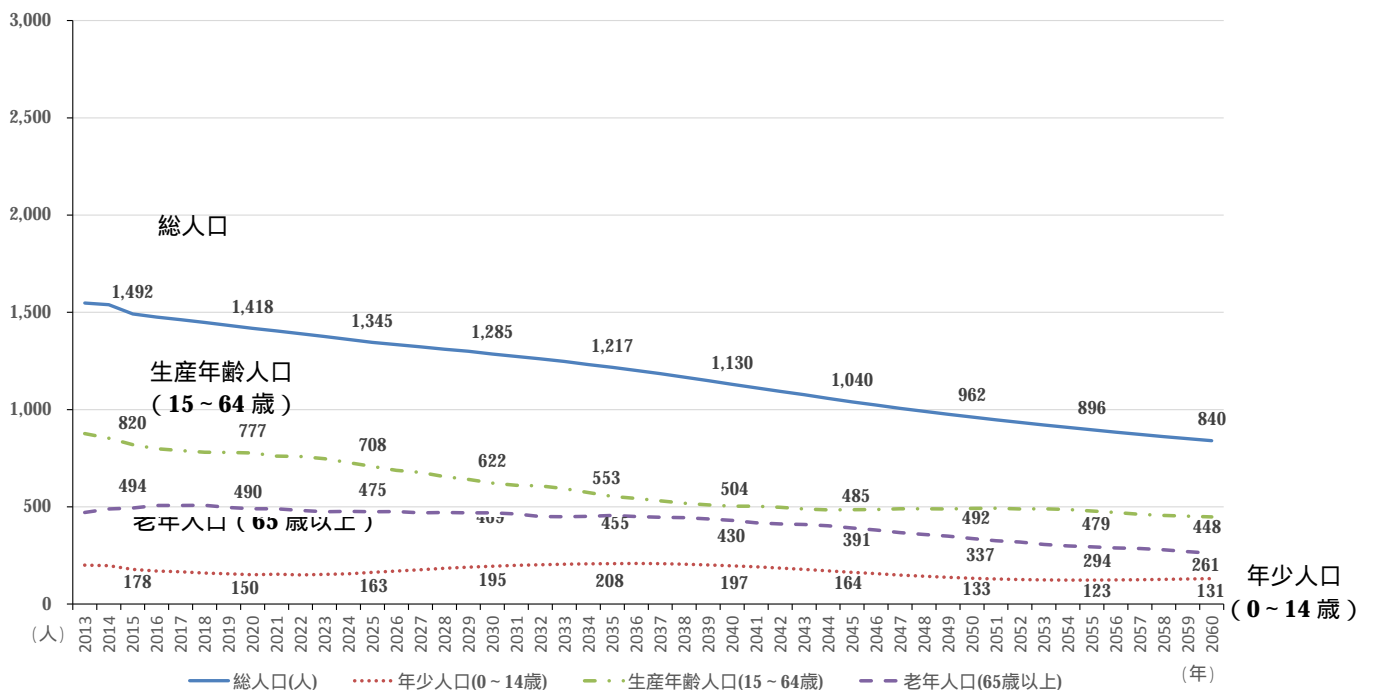


【出典】丹波市 (住民基本台帳人口 2015 年 3 月末)

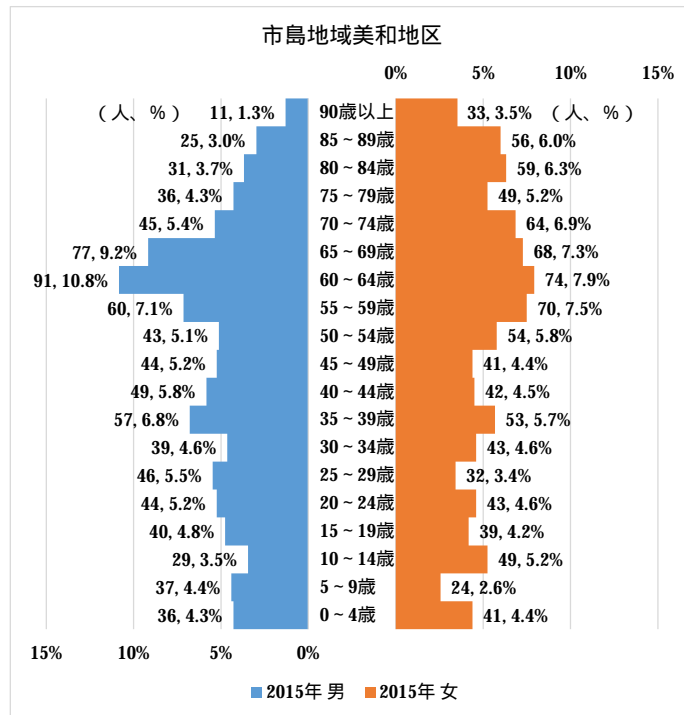
将来人口推計

- ・総人口は、2015 年の 1,492 人から、2040 年には 1,130 人 (24.3% 減)、2060 年には 840 人 (43.7% 減) となる。高齢化率は 2040 年には 38.1%、2060 年には 31.1% になると推計される。

年齢 3 区分別将来人口推計



(2 5) 市島地域美和地区
人口ピラミッド (2015 年)



【出典】丹波市（住民基本台帳人口 2015 年 3 月末）

将来人口推計

- ・総人口は、2015 年の 1,774 人から、2040 年には 1,164 人(34.4%減)、2060 年には 717 人(59.6%減)となる。高齢化率は 2040 年には 41.9%、2060 年には 52.0%になると推計される。

年齢 3 区分別将来人口推計

